

KYOCERA Net Viewer
操作手順書



使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、性能改善のため、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®および Windows Server® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。他社製品の名称や商標などのその他の名前は、各企業の商標または登録商標です。

本書で説明している操作は、Windows 7 の印刷環境での操作を例としています。操作方法は Microsoft Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 環境で、基本的に同じです。

本書に記載されている機能は、お使いのモデルにより異なります。

デバイスの機能についての詳細は、デバイスの **[使用説明書]** を参照してください。ドライバーの機能についての詳細は、**[プリンタードライバー操作手順書]** を参照してください。

目次

1 クイックスタート

| | |
|-------------------------|-----|
| 起動とログイン | 1-1 |
| 認証オプションを編集 | 1-1 |
| デバイスの検出 | 1-2 |
| デバイスを追加 | 1-2 |
| 自動検出 | 1-3 |
| 除外されたデバイス | 1-3 |
| ホストの検出 | 1-4 |
| ホストサービスを有効化 | 1-4 |
| ホストを追加 | 1-5 |
| 自動ホスト検出 | 1-6 |
| 除外されたホスト | 1-6 |
| ユーザーインタフェース | 1-7 |
| メインメニュー | 1-7 |
| マイビュー | 1-7 |
| デフォルトビュー | 1-7 |
| ツールバー | 1-7 |
| リストビュー | 1-8 |
| 監査ログレコードを表示 | 1-9 |
| アプリケーションウィンドウを閉じる | 1-9 |

2 ビューの管理

| | |
|------------------------------|-----|
| 表示 | 2-1 |
| デフォルトビュー | 2-1 |
| マップビュー | 2-2 |
| マイビュー | 2-3 |
| ダイナミックビュー | 2-3 |
| マニュアルビュー | 2-4 |
| マイビューに新規フォルダーを追加 | 2-4 |
| フォルダーまたはビューの名前を変更 | 2-5 |
| ビューからデバイス、部門、またはホストを削除 | 2-5 |
| ビューの更新と保存 | 2-5 |
| ビューの複製 | 2-5 |
| ビューの削除 | 2-6 |
| ビューをファイルにエクスポートする | 2-6 |
| リストをファイルにエクスポート | 2-6 |
| デバイス情報をファイルにエクスポートする | 2-6 |
| 表示領域のサイズ変更 | 2-7 |
| 更新 | 2-7 |
| フォルダーレポート | 2-7 |
| フォルダーレポートの作成とエクスポート | 2-8 |
| 検索 | 2-8 |
| 検索 | 2-8 |

| | |
|-----------------|-----|
| アドバンストサーチ | 2-8 |
|-----------------|-----|

3 デバイス

| | |
|-----------------------------------|------|
| デバイスプロパティ | 3-1 |
| デバイスプロパティの表示 | 3-2 |
| デバイスプロパティレポート | 3-2 |
| デバイスのホームページの表示 | 3-3 |
| 管理者ログイン | 3-3 |
| アドレス帳 | 3-3 |
| 個人アドレスの追加 | 3-4 |
| グループの追加 | 3-4 |
| グループに個人アドレスを追加 | 3-4 |
| 個人アドレスとグループの削除 | 3-5 |
| 個人アドレスとグループの編集 | 3-5 |
| ワンタッチキー | 3-5 |
| 個人アドレスとグループのコピー | 3-7 |
| アドレス帳のエクスポート | 3-7 |
| アドレス帳の検索 | 3-7 |
| デバイスビュープリンターインストール | 3-8 |
| デバイスビューでプリンタードライバーをインストール | 3-8 |
| デバイスビューでプリンタードライバーをアップグレード | 3-9 |
| デバイスビューでプリンタードライバーをアンインストール | 3-9 |
| ユーザー | 3-10 |
| デバイスユーザーの追加 | 3-10 |
| デバイスのユーザーリストをエクスポート | 3-11 |
| デバイスユーザーリストの検索 | 3-11 |
| 簡単ログインキーの設定 | 3-12 |
| 簡単ログインキーリストの検索 | 3-12 |
| ジョブ | 3-13 |
| ジョブの詳細の表示 | 3-13 |
| ジョブ履歴のエクスポート | 3-13 |
| ジョブリストの検索 | 3-14 |
| ジョブ保留 | 3-14 |
| ジョブ保留の表示 | 3-14 |
| 保存ジョブの印刷 | 3-14 |
| ジョブ保留リストの印刷 | 3-14 |
| ジョブ保留の削除 | 3-15 |
| ジョブ保留の検索 | 3-15 |
| 文書ボックス | 3-15 |
| 文書ボックスの表示と編集 | 3-16 |
| 文書ボックスの追加 | 3-17 |
| 文書ボックスのリストをエクスポート | 3-17 |
| 文書のプロパティの表示 | 3-18 |
| 文書の表示 | 3-18 |
| 文書のダウンロード | 3-19 |
| 文書ボックスの検索 | 3-19 |
| 文書ボックス間での文書の移動 | 3-19 |
| バーチャルメールボックス | 3-19 |
| バーチャルメールボックスの表示 | 3-20 |
| バーチャルメールボックスの削除 | 3-20 |
| バーチャルメールボックスリストのエクスポート | 3-20 |
| バーチャルメールボックスの拡張機能オプション | 3-21 |
| 新規バーチャルメールボックスの追加 | 3-21 |
| バーチャルメールボックスの編集 | 3-22 |
| デバイスアプリケーション | 3-22 |
| アプリケーションを複数のデバイスにインストール | 3-22 |
| アプリケーションを1台のデバイスにインストール | 3-23 |

| | |
|--|------|
| 複数のデバイスにインストールされたアプリケーションを起動 | 3-24 |
| 1台のデバイスにインストールされたアプリケーションの起動 | 3-25 |
| 複数のデバイスにインストールされたアプリケーションを停止 | 3-25 |
| 1台のデバイスにインストールされたアプリケーションを停止 | 3-26 |
| 複数のデバイスでインストールされたアプリケーションをアンインストール | 3-26 |
| 1台のデバイスでインストールされたアプリケーションをアンインストール | 3-27 |
| アプリケーションの検索 | 3-27 |
| 証明書を管理 | 3-27 |
| 証明書をインポート | 3-27 |
| 証明書を削除 | 3-28 |
| プロトコルにデバイス証明書を割り当てる | 3-29 |
| 1台のデバイス上で証明書を管理 | 3-29 |
| デバイス通知設定 | 3-30 |
| デバイス通知設定 | 3-30 |
| 拡張機能 | 3-31 |
| デバイスマルチセット | 3-32 |
| デバイスを再起動 | 3-37 |
| オプション機能を管理 | 3-38 |
| ファームウェアアップグレード | 3-39 |
| 認証設定 | 3-41 |
| ネットワークグループ | 3-44 |
| TCP/IP 送信データ | 3-45 |

4 部門

| | |
|-----------------------------|------|
| 管理者ログイン | 4-1 |
| 部門デバイスの追加 | 4-1 |
| 新規部門の作成 | 4-1 |
| 部門のプロパティ | 4-2 |
| デバイスの部門 | 4-3 |
| 部門のデバイス | 4-3 |
| 部門とデバイスの表示 | 4-3 |
| 部門情報をファイルにエクスポート | 4-3 |
| デバイスの部門情報をファイルにエクスポート | 4-4 |
| カウンターレポート | 4-4 |
| カウンターの自動リセット | 4-5 |
| カウンターレポートの作成 | 4-5 |
| カウンターレポート設定の表示と変更 | 4-5 |
| デバイスの管理 | 4-5 |
| 部門デバイスの管理 | 4-5 |
| 管理対象外デバイスの表示/非表示 | 4-6 |
| カウンターのリセット | 4-6 |
| 部門管理カウンターのリセット | 4-6 |
| 部門通知設定 | 4-6 |
| 部門通知の設定 | 4-6 |
| デバイスの部門管理設定 | 4-7 |
| デバイスの部門管理設定へのアクセス | 4-7 |
| 部門管理の有効化/無効化 | 4-7 |
| 用紙種類カウンターの選択 | 4-8 |
| エラーハンドリング | 4-8 |
| 処理の許可およびコピーカウンターの設定 | 4-8 |
| 部門のマルチセット | 4-9 |
| デバイスから部門設定を作成 | 4-9 |
| ファイルから部門設定を作成 | 4-10 |
| 新規部門設定を作成 | 4-11 |
| エクスポート | 4-12 |
| 部門コードリストのエクスポート | 4-13 |
| カウンター情報をエクスポート | 4-13 |

| | |
|-------------------------|------|
| 部門情報をエクスポート | 4-14 |
| 部門のプロパティ情報をエクスポート | 4-14 |

5 ホスト

| | |
|----------------------------------|-----|
| キューの追加 | 5-1 |
| 共通設定のオプション | 5-2 |
| 競合オプション | 5-2 |
| キュー名の編集 | 5-3 |
| ホストビュープリンターインストール | 5-3 |
| プリントスプーラーでクライアント接続を許可 | 5-3 |
| リモート管理の例外を許可する | 5-3 |
| ホストビューでプリンタードライバーをインストール | 5-4 |
| ホストビューでプリンタードライバーをアップグレード | 5-5 |
| ホストビューでプリンタードライバーをアンインストール | 5-5 |
| 追加ドライバーをインストール | 5-6 |
| プリンタードライバーリストの表示 | 5-6 |
| 印刷キューリストの表示 | 5-7 |
| ホストログイン設定の選択 | 5-7 |
| ドメイン管理者のログイン設定の選択 | 5-7 |
| ホスト情報をファイルにエクスポート | 5-8 |
| プリンター設定の構成 | 5-8 |

6 通信設定

| | |
|------------------------|-----|
| デバイス通信設定 | 6-1 |
| ネットワークインターフェイス設定 | 6-1 |
| TCP/IP ポート | 6-2 |
| セキュアプロトコル設定 | 6-2 |
| ログイン設定 | 6-2 |
| 部門ポーリング設定 | 6-2 |
| デバイスポーリング設定 | 6-3 |

7 ワークスペース

| | |
|-----------------------------|-----|
| 新規ワークスペースの追加 | 7-1 |
| 既存のワークスペースを開く | 7-1 |
| ワークスペースのインポート/エクスポート | 7-2 |
| ファイルを新規のワークスペースへインポート | 7-2 |
| ワークスペースをファイルにエクスポート | 7-2 |
| 最近使用したワークスペースの表示 | 7-3 |

8 オプション

| | |
|--------------------------|-----|
| E メールオプションを編集 | 8-1 |
| 認証オプションを編集 | 8-1 |
| デバイスのポーリングオプションを編集 | 8-2 |
| SNMP トラップオプションを編集 | 8-2 |
| 部門ポーリングオプションを編集 | 8-3 |
| ログ管理オプションを編集 | 8-4 |
| プロキシオプションを編集 | 8-4 |

1 クイックスタート

デフォルトデバイスや作成したカスタムビューからネットワーク上のデバイス情報の整理や監視をサポートする多くの機能が利用できます。初めにログインし、ネットワーク上でデバイスとホストの検出からワークスペースを設定する必要があります。

起動とログイン

- 1 本アプリケーションを開きます。
- 2 管理者権限を持っている場合、最後に保存したワークスペースが表示され、タスクを続行できます。
アプリケーションをインストールしたばかりで、これが最初の起動である場合は、**[KYOCERA Net Viewer ワークスペースを選択]** ダイアログボックスが表示されます。手順 4 に進みます。
管理者権限を持っていない場合は、ネットワーク管理者にユーザーログインパスワードを設定してもらう必要があります。手順 3 に進みます。
- 3 ログインテキストボックスにパスワードを入力して、**[OK]** をクリックします。送信したパスワードが受理されると、最後に保存したワークスペースが表示されます。
ユーザーとして管理者権限を持たずに初めてログインする場合は、ステップ 4 に進みます。
- 4 ワークスペースフォルダーを入力または参照し、**[OK]** をクリックします。**[デバイスを追加]** ウィザードが表示され、ネットワークデバイスをワークスペースに追加することができます。

認証オプションを編集

他の Windows ユーザーがアプリケーションにログインする際の、パスワードを設定できます。この機能は管理者のみが設定できます。

- 1 **[編集]** メニューで、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[オプション]** ダイアログボックスで、**[認証]** をクリックします。
- 3 **[ローカルパスワードを有効にする]** チェックボックスを選択します。
- 4 **[新しいパスワード]** テキストボックスに、ローカルユーザーのパスワードを入力します。パスワードは、画面上に表示されている必要条件に従ってください。
- 5 **[パスワードの確認]** テキストボックスに、再度パスワードを入力します。

- 6 [OK] をクリックします。

デバイスの検出

【検出】は、ネットワーク上のデバイスを確認する機能です。新しいデバイスが検出されると、アプリケーションはそのデバイスに関する情報をデータベースに追加します。この処理は、一つまたは複数のデバイスに対して手動で実行するか、またはスケジュールを設定して自動で実行することもできます。また、デバイスを検出から除外することもできます。

アプリケーションを最初に起動するとき、または新規ワークスペースを開いたときは、**【デバイスを追加】**ウィザードが自動的に起動されます。

デバイスを追加

【デバイスを追加】ウィザードを使用して、ビューリストにデバイスを追加できます。

- 1 **【デバイス】**メニューで、**【検出】**>**【デバイスを追加】**の順にクリックします。

- 2 **【デバイスを追加】**ウィザードで、デバイスを追加する方法を選択します。

【エクスプレス】

事前に定義された通信設定を使用してローカルネットワーク内のデバイスを検出します。

【カスタム】

設定を指定して任意のネットワーク上のデバイスを検出します。

- 3 選択した方法に対してウィザードを実行し、**【完了】**をクリックして検出を開始します。

デバイスを追加するためのカスタムオプション

【デバイスを追加】のウィザードで**【カスタム】**が選択されている場合、検出処理を実行する場所をローカルネットワーク、指定のIPアドレス、またはIPアドレスの範囲から選択できます。ウィザードにしたがって次のオプションを選択します。

【ローカルネットワーク上で検索】

検出タイプを選択してください。**【次へ】**をクリックして、通信設定、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

【IPアドレスで検索】

IPv4 または IPv6 アドレス、またはホスト名を入力し、**【追加】**をクリックして**【選択されたターゲット】**リストに追加します。**【インポート】**をクリックしてIPアドレスリスト(CSVまたはTXT)を使用することもできます。**【選択されたターゲット】**リストからIPアドレスまたはホスト名を削除するには、IPアドレスまたはホスト名を選択してから、**【削除】**をクリックします。**【次へ】**をクリックして、通信設定、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

【IPアドレス範囲で検索】

IPv4 または IPv6 の開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力し、**【追加】**をクリックして**【選択されたネットワークセグメント】**リストに追加します。**【選択されたネットワークセグメント】**リストからIPアドレス範囲を削除するには、IPアドレスを選択してから、**【削除】**をクリックします。**【次へ】**をクリックして、通信設定、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

自動検出

定期的な検出処理を実行するよう、スケジュールを設定することができます。デバイスがネットワークに頻繁に追加あるいは削除される場合、定期的に検出を実行するとデータベースを最新の状態に保つことができます。

自動検出のスケジュール設定

デバイスの検出のスケジュールを設定することができます。

- 1 **[デバイス]** メニューで、**[検出]** > **[自動検出]** の順にクリックします。
- 2 **[スケジュールされている検出]** ダイアログボックスが開きます。
[追加] をクリックして新しい検出モードを作成します。 **[デバイスを追加]** ウィザードで、各ウィンドウから定期検出のスケジュールを設定するよう選択します。 **[検出の確認]** ページで、 **[完了]** をクリックして設定を保存します。
[プロパティ] をクリックして、検出のスケジュールを編集します。 ウィンドウ上で、定期検出のスケジュールの設定を確認し、 **[変更を適用]** をクリックします。
- 3 **[削除]** をクリックして検出のスケジュールを削除します。
- 4 **[閉じる]** をクリックして変更を保存して、 **[スケジュールされている検出]** ダイアログボックスを終了します。

除外されたデバイス

デバイスを検出処理から除外できます。セキュリティに関する理由で、ビューからホストを削除できます。

デバイスは **[デバイスを含める]** を実行することにより、デバイスリストに復元することができます。

検出からデバイスを除外

検出プロセスからデバイスを除外できます。このオプションは、デバイスリストからデバイスを除外し、 **[除外されたデバイス]** ウィンドウにデバイスを表示します。デバイスの情報は、アプリケーションから削除されません。

- 1 **[デバイス]** ビューまたは **[部門デバイスビュー]** から、除外したいデバイスを選択します。
- 2 選択したデバイスを右クリックし、 **[デバイスの削除]** をクリックします。

デバイスを含める

除外されたデバイスを再び含めることができます。デバイスが含まれた場合は、次の検出に表示されます。

- 1 **[デバイス]** メニューで、 **[検出]** > **[除外されたデバイス]** の順にクリックします。
- 2 **[除外されたデバイス]** リストから、含めたいデバイスを選択します。
- 3 **[デバイスを含める]** をクリックします。

ホストの検出

【検出】は、ネットワーク内にあるホストPCを検索して表示させる機能です。ホストが検出されると、アプリケーションはデータベースにあるそのホストの情報を更新します。この処理は、1つまたは複数のホストに対して手動で実行するか、またはスケジュールを設定して自動で実行することもできます。検出プロセスからホストを除外することもできます。

ホストサービスを有効化

アプリケーションがホストを検出するには、Windows Management Instrumentation (WMI) と Remote Procedure Call (RPC) サービスをホストと対象のコンピューターで有効化する必要があります。

署名付きドライバーの証明書のインストール

Windows Vista 以降、ハードウェアに関連したドライバーにはデジタル署名が必要になります。署名付きドライバーをインストールする前に、Windows には信頼された証明書が必要です。マイクロソフトが署名したドライバーには、証明書は既にインストールされており、製造者が署名したドライバーには、ターゲットのホストに証明書をインストールする必要があります。

- 1 ドライバーパッケージから、**【セキュリティカタログ】(.CAT)** ファイルを選択します。
- 2 **【セキュリティカタログ】** ダイアログボックス > **【全般】** で、**【署名の表示】** をクリックします。
- 3 **【デジタル署名の詳細】** ダイアログボックス > **【全般】** タブで、**【証明書の表示】** をクリックします。
- 4 **【証明書】** ダイアログボックス > **【全般】** タブで、**【証明書のインストール】** をクリックします。
- 5 **【証明書のインポート】** ウィザードで、**【次へ】** をクリックします。
- 6 **【証明書ストア】** ページで、**【証明書をすべて次のストアに配置する】** を選択し、**【参照】** をクリックします。
- 7 **【証明書ストアの選択】** ダイアログボックスで、**【信頼された発行元】** を選択し **【OK】** をクリックします。
- 8 **【次へ】** をクリックし、**【完了】** をクリックします。

WMI

- 1 ホストと対象のコンピューターで、**【スタート】** > **【コントロールパネル】** > **【システムとセキュリティ】** > **【管理ツール】** > **【コンピューターの管理】** に進みます。
- 2 **【コンピューターの管理】** ダイアログボックスで、**【サービスとアプリケーション】** をクリックします。
- 3 **【WMI コントロール】** を右クリックし、**【プロパティ】** を開きます。

- 4 **[WMI コントロールのプロパティ]** ダイアログボックスで、**[セキュリティ]** タブをクリックします。
- 5 **[セキュリティ]** ボタンをクリックします。
- 6 **[グループ名またはユーザー名]** リストから、**[Administrators]** を選択します。
- 7 **[アクセス許可]** リストで、**[リモートの有効化]** を **[許可]** にするチェックボックスを選択します。

RPC

- 1 ホストと対象のコンピューターで、**[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[システムとセキュリティ]** > **[管理ツール]** > **[コンピューターの管理]** に進みます。
- 2 **[コンピューターの管理]** ダイアログボックスで、**[サービスとアプリケーション]** > **[サービス]** をクリックします。
- 3 **[Remote Procedure Call (RPC)]** を右クリックし、**[開始]** をクリックします。

ホストを追加

[ホストを追加] ウィザードを使用して、ビューリストにホストコンピューターを追加できます。

- 1 **[ホスト]** メニューで、**[検出]** > **[ホストを追加]** をクリックします。
- 2 **[ホストを追加]** ウィザードで、ホストコンピューターの検出方法を選択します。
- 3 選択した方法に対して、設定を終了します。**[検出の確認]** ページで、**[完了]** をクリックします。前のページで **[すぐに開始]** を選択した場合は、検出を開始します。定期検出のスケジュールを選択した場合は、**[スケジュールされているホストの検出]** ダイアログボックスに追加されます。

参考: ホストを初めて追加する場合は、**[ドメイン管理者ログイン]** ダイアログボックスが表示されます。

[ホストビュー] でホストを選択し、**[ホストの削除]** をクリックしてホストを削除することができます。ドライバー情報およびキュー情報も削除されます。**[除外されたホスト]** リストにホストが追加されます。

ホストを追加のオプション

[ホストを追加] ウィザードで、次のオプションを選択します。

[現在のドメインを検索]

ネットワーク内のホストを検出します。**[次へ]** をクリックして、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

[Active Directory を参照]

[Active Directory] 内のロケーションを選択します。**[次へ]** をクリックして、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

[IP アドレス範囲を指定]

IPv4 または IPv6 の開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力し、**[追加]** をクリックして **[選択されたネットワークセグメント]** リストに追加します。**[選択されたネットワークセグメント]** リストから IP アドレス範囲を削除するには、IP アドレスを選択してから、**[削除]** をクリックします。**[次へ]** をクリックして、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

[IP アドレスの指定]

IPv4 または IPv6 アドレス、またはホスト名を入力し、**[追加]** をクリックして **[選択されたターゲット]** リストに追加します。**[インポート]** をクリックして IP アドレスリスト (CSV または TXT) を使用することもできます。**[選択されたターゲット]** リストから IP アドレスまたはホスト名を削除するには、IP アドレスまたはホスト名を選択してから、**[削除]** をクリックします。**[次へ]** をクリックして、検出のスケジュールを選択し、検出の設定を確認します。

自動ホスト検出

定期的な検出処理を実行するよう、スケジュールを設定することができます。ホストがネットワークに頻繁に追加あるいは削除される場合、定期的に検出を実行するとデータベースを最新の状態に保つことができます。

自動ホスト検出のスケジュール設定

ホストの検出のスケジュールを設定することができます。

- 1 **[ホスト]** メニューで、**[検出]** > **[自動検出]** をクリックします。
- 2 **[スケジュールされているホストの検出]** ダイアログボックスから、次のオプションを選択します。
 - [追加]** をクリックして新しい検出モードを作成します。**[ホストの追加]** ウィザードで、各ウィンドウから定期検出のスケジュールを設定するよう選択します。**[検出の確認]** ページで、**[完了]** をクリックして設定を保存します。
 - [プロパティ]** をクリックして、検出のスケジュールを編集します。ウィンドウ上で、定期検出のスケジュールの設定を確認し、**[変更を適用]** をクリックします。
- 3 **[削除]** をクリックして検出のスケジュールを削除します。
- 4 **[閉じる]** をクリックして変更を保存して、**[スケジュールされているホストの検出]** ダイアログボックスを終了します。

除外されたホスト

検出プロセスからホストを除外できます。セキュリティに関する理由で、ビューからホストを削除できます。

[ホストを含める] オプションを使用してホストを再び含めることができます。

検出からホストを除外

検出プロセスからホストを除外できます。ホストリストからホストを消去し、**[除外されたホスト]** ウィンドウに表示します。ホストの情報は、アプリケーションから削除されません。

- 1 **[ホストビュー]** で、除外するホストを選択します。

- 2 選択したホストを右クリックして **[削除]** をクリックします。

ホストを含む

除外されたホストを再び含めることができます。ホストが含まれた場合は、次の **[ホストの検出]** に表示されます。

- 1 **[ホスト]** メニューで、**[検出]** > **[除外されたホスト]** をクリックします。
- 2 **[除外されたホスト]** リストから、含めたいホストを選択します。
- 3 **[ホストを含める]** をクリックします。

ユーザーインターフェース

ユーザーインターフェースは、ネットワークデバイス、デバイスの部門、またはホストコンピューターに関する必要な情報がすばやく得られるよう設計されています。

画面は2つのペインに分かれています。ナビゲーションペインでは、他のペインのデバイスリストに表示するビューを選択できます。ビューは指定された列および行 (リスト) を整理したもの、あるいはレイアウト (マップ) です。

アプリケーションには2つのビューがあります。カスタムビューは、**[マイビュー]**の見出しの下に一覧表示され、アプリケーションによって定義されている標準ビューは、**[デフォルトビュー]**の下に表示されます。

メインメニュー

メインメニューはウィンドウの一番上にあります。アプリケーションに対する一般的な操作を、このメニューで行います。

マイビュー

[マイビュー] は、**[デフォルトビュー]** または他の **[マイビュー]** から作成できるリストまたはマップです。マイビューを使用すると、表示する情報の種類をカスタマイズできます。**[マイビュー]** は、ツリー形式になっており、フォルダーと **[マイビュー]** ノードが表示されます。**[マイビュー]** でデフォルトビューを選択すると、別のペインにビュー (リストまたはマップ) を表示します。フォルダーを作成して、**[マイビュー]** を整理および管理することができます。**[マイビュー]** に情報を追加するには、**[表示]** メニューで **[ダイナミックビューの追加]** または **[選択を使用してマニュアルビューを追加]** の順に選択します。

デフォルトビュー

[デフォルトビュー] は、既存のリストまたはマップビューとなっています。

特定のデフォルトビューを選択すると、アプリケーションは別のペインにビュー (リストまたはマップ) を表示します。一部の **[デバイス]** ビューオプションは、リストビューで使用でき、マップビューでは使用できません。

[デフォルトビュー] には標準の6つの **[デバイス]** ビュー、2つの **[部門]** ビュー、および3つの **[ホスト]** ビューが使用できます。これらを削除することはできません。

ツールバー

各ビューはメインメニューの下にツールバーを表示します。ツールバーには、デバイス、部門、ホストを管理または編集するタスク等、各ビューでよく

使われるタスクのアイコンが含まれます。マウスのカーソルを各アイコンの上に合わせると、対応するタスクを確認することができます。

リストビュー

ビューが選択されている場合、画面にデバイス、部門、ホストのリストが表示されます。カスタマイズ可能な情報がリスト形式で表示されます。【デバイス】のリストビューを展開して、デバイスに関する詳細な情報を表示することができます。【マップビュー】を使用してオフィスの背景マップにデバイスを表示できます。

ステータスアイコンの識別

デバイスおよびホストのリストビューにあるステータスアイコンには、各デバイスの状態に関する簡単な説明が表示されます。三角形のアイコンをクリックして行を展開すると、状態についての説明が表示されます。

リストビューのカスタマイズ

【マイビュー】で保存されたデバイス、部門、およびホストの情報を調整できます。【マイビュー】への変更を更新するには、ツールバーで【ビューの更新】をクリックします。【デフォルトビュー】に対する変更は、ビューを終了した後は保存されません。

列の表示/非表示

列の選択リストを開くには、列の見出しを右クリックします。目的の列名をクリックして、ビューに表示する新しい列を選択します。リストビューから列を非表示にするには、任意の列見出しをクリックして列の選択リストを開きます。隣にチェックマークが付いている非表示にする列名をクリックします。

列の幅の変更

列の幅を調整するには、列の境目上で両方向矢印が表示される位置までカーソルを移動します。矢印をクリックし、設定する列サイズまでドラッグします。

列の場所の変更

リストビューの別の場所に列を移動するには、移動する列の見出しをクリックし、移動する場所にドラッグします。

リストビューの整理

デバイスリストの情報は、並べ替えることができます。列見出しをクリックすると、並べ替え条件としてその列のデータを使用して、ビュー内の行の並べ替え順序が変更されます。上向きの三角形は行が昇順で並べ替えられていることを示し、下向きの三角形は行が降順で並べ替えられていることを示します。

デバイスのリストビューの行を展開

【デバイス】のリストビューの行を展開して、デバイスに関する詳細な情報を表示することができます。三角形のアイコンをクリックし、デバイスと装着されているすべてのオプションが表示された3D画像が表示されます。デバイスに関するその他の情報、モデル、ステータス、IPアドレス、および印刷速度などが表示されます。

行を通常のデバイスリストに折りたたむには、もう一度三角形のアイコンをクリックします。

監査ログレコードを表示

監査ログは、作成されると自動的に保存されます。認可されたユーザーは、それを **【監査ログレコード】** ダイアログボックスに表示することができます。監査ログはアプリケーションを実行するたび、または認証オプションを変更するたびに作成されます。監査ログは **【編集】 > 【オプション】 > 【ログの管理設定】** で管理できます。

- 1 **【ファイル】** メニューで **【ログレコードを開き監査】** をクリックします。
- 2 **【監査ログレコード】** ダイアログボックスで:
 - ビュー内の行のソート順を変更するには、列のヘッダーをクリックします。
 - 【検索可能なフィールド】** リストからオプションを選択し、検索したい文字を **【テキストの検索】** ボックスに入力します。
 - 監査ログレコードを保存するには、**【エクスポート】** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。デフォルトファイル名は **【AuditLog.csv】** です。
 - 【更新】** をクリックして表示を更新します。
- 3 **【閉じる】** をクリックします。

アプリケーションウィンドウを閉じる

アプリケーションウィンドウを閉じることにより、画面にデバイリストが表示されないようになりますが、アプリケーションは引き続きシステムトレイで実行されます。これは、デスクトップで開いているウィンドウの数を減らしたい場合や、画面上で監視する必要のないタスクを実行する場合などに便利です。アプリケーションウィンドウを閉じるには、**【ファイル】** メニューから、**【ウィンドウを閉じる】** をクリックします。ウィンドウを再び開くには、システムトレイのアイコンをダブルクリックするか、またはアイコンを右クリックして **【復元】** をクリックします。

アプリケーションを終了するには、**【ファイル】** メニューから **【終了】** をクリックします。アプリケーションは、終了する前に現在表示されているワークスペースを保存します。次回同じユーザーがアプリケーションを開いたとき、この保存されたワークスペースが表示されます。

2 ビューの管理

アプリケーションには2つのタイプのビューがあります。カスタムビューは、**【マイビュー】**に一覧表示され、標準ビューは、**【デフォルトビュー】**にアプリケーション別に定義されます。デフォルトビューは次のとおりです。

【デバイス】

【一般ビュー】、**【性能ビュー】**、**【カウンタービュー】**、**【ファームウェアビュー】**、**【固定資産ビュー】**、および**【マップビュー】**

【部門】

【部門デバイスビュー】、**【部門ビュー】**

【ホスト】

【ホストビュー】、**【ホストドライバービュー】**、**【ホストキュービュー】**

ビューは、**【マイビュー】**で作成、変更、または削除できます。**【デフォルトビュー】**では、リストの外観をカスタマイズできますが、ビューを終了しても変更は保存されません。**【デフォルトビュー】**の表示に対して恒久的な変更を行うことはできません。

表示

【表示】メニューの**【表示】**機能を使用して別のビューに切り替えることができます。変更するビューを選択して、**【表示】**>**【表示】**をクリックし、リストから新しいビューをクリックします。

現在選択されているビューが**【デフォルトビュー】**にある場合、ビューは選択されたデフォルトビューに切り替わります。

現在選択されているビューが**【マイビュー】**にある場合、新しく選択されたビューの内容が変わります。ビューを保存するには、**【ビューの更新】**をクリックします。

この機能は**【部門】**ビューおよび**【ホスト】**ビューには利用できません。

デフォルトビュー

アプリケーションの**【デフォルトビュー】**には、標準のビューが提供されており、これは削除および変更したりすることはできません。

【マップビュー】以外の任意のビューでは、リストから列を一時的に追加または削除することができます。列見出しを右クリックして、表示させたい項目を選択またはクリアすることができます。変更されたビューは、他のビューに切り替えた場合は保存されません。

次のデフォルト**【デバイス】**ビューが使用可能です。

【一般ビュー】

表示名、IP アドレス、ホスト名、トナー量、説明、ロケーション、およびモデル名などの一般情報が表示されます。

【性能ビュー】

カラー/白黒、印刷速度、両面印刷、メモリー合計、HDD/SSD (ストレージデバイス)、スキャン、ファクス、ステープル、パンチ、アドレス帳、文書

ボックス、ユーザーリスト、ジョブ履歴などの機能のサポート状態が表示されます。

【カウンタービュー】

印刷ページ数合計、コピー機からの印刷ページ数、プリンターからの印刷ページ数、ファクス/ル-ファクス印刷ページ数、白黒印刷ページ数、単色カラー印刷ページ数、フルカラー印刷ページ数、スキャンページ数合計、コピー機からのスキャンページ数、ファクスからのスキャンページ数、およびその他のスキャンページ数のデバイスカウンターが表示されます。

【ファームウェアビュー】

システムファームウェア、エンジンファームウェア、スキャナーファームウェア、ファクスファームウェア (ポート 1 & 2)、パネルファームウェア、および NIC ファームウェアバージョンなど、ファームウェアの情報が表示されます。

【固定資産ビュー】

MAC アドレス、シリアル番号、および固定資産番号を含む固定資産情報が表示されます。

【マップビュー】

オフィスの背景マップでデバイスを表示します。

次のデフォルト **【部門】** ビューが使用可能です。

【部門デバイスビュー】

部門管理をサポートするデバイスの一般情報およびカウンターを表示します。

【部門ビュー】

印刷やコピー、ファクス、スキャンのカウンター合計のように、管理されたデバイスの部門情報を表示します。

次のデフォルトの **【ホスト】** ビューが使用可能です。

【ホストビュー】

ネットワークホストコンピューターの一般情報を表示します。

【ホストドライバービュー】

ホストコンピューターにインストールされたプリンタードライバーを表示します。

【ホストキュービュー】

ホストコンピューターの印刷キューを表示します。

マップビュー

【マップビュー】 を使用すると、オフィスの背景マップにデバイスを表示することができます。デバイスのプロパティは、マップビューから表示および管理することができます。オフィスマップを使用すると、オフィス全体のデバイスの配置場所を視覚的に確認するのに便利です。

【デフォルトビュー】 で、**【マップビュー】** をクリックします。最初のマップビューには、白い背景にすべてのデバイスがアイコンで表示されます。背景に表示するオフィスレイアウトのイメージをインポートし、次にそれぞれのデバイスアイコンをクリックしてオフィスの配置場所までドラッグすることができます。インポートされたマップは、現在のワークスペース中のすべてのマップビューで共有されます。

デバイスに関する情報は、ポインタをアイコンの上に移動すると表示されず。

マップの背景をインポート

マップビューの背景にオフィスレイアウトを表示するようイメージをインポートすることができます。

- 1 [デフォルトビュー]で、[マップビュー]を選択します。
- 2 [表示]メニューで、[マップ]>[マップの背景をインポート]をクリックします。
- 3 [マップの背景をインポート]ダイアログボックスで、[参照]をクリックして、イメージファイル (BMP または JPG) を選択し、[開く]をクリックします。
- 4 [OK] をクリックします。

マップサイズの調整

表示ウィンドウ内のマップイメージのサイズを変更できます。

[縮小/拡大] ボックスで、次のいずれかの機能を選択してイメージサイズを変更します。

[拡大] をクリックするとイメージのサイズは 1 段階大きくなります。

[縮小] をクリックするとイメージのサイズは 1 段階小さくなります。

[画面にあわせる] をクリックすると、全体のイメージが画面内に収められます。画面サイズを変更する場合は、[画面にあわせる] をもう一度クリックします。

[拡大/縮小] ボックスに 50% ~300% のパーセンテージを入力して、[Enter] キーを押します。

マップの背景をクリア

マップビューから背景の画像を削除することができます。マップイメージを削除した後も、すべてのデバイスアイコンは元の位置に残ります。

[表示]>[マップ]>[マップの背景をクリア] をクリックします。

マイビュー

[マイビュー]でカスタムビューを設定できます。フォルダーを作成してカスタムビューを整理できます。

[マイビュー]では、表示されるデバイス、部門、ホスト、列の順序、列の数、およびその他のビューの設定をカスタマイズできます。カスタムビューを作成したり (マニュアルビュー)、現在表示されているビューを一致させることができます (ダイナミックビュー)。[ビュー]メニューから、ビューの変更を保存し、[ビューの更新]をクリックします。[マイビュー]にある [ビューの管理] アイコンをクリックすると、オプション設定のメニューが開きます。

ダイナミックビュー

ダイナミックビューは、[マイビュー] で作成したデフォルトビューまたはカスタムビューのコピーです。ダイナミックビューは、現在表示されているビューに一致します。

[デバイス]

[一般ビュー]、[性能ビュー]、[カウンタービュー]、[ファームウェアビュー]、[固定資産ビュー]、および [マップビュー]

[部門]

[部門デバイスビュー]、[部門ビュー]

[ホスト]

[ホストビュー]、[ホストドライバービュー]、[ホストキュービュー]

作成後は、必要に応じてダイナミックビューに名前を付けたり、変更したりできます。

[マイビュー]でマニュアルビューが選択されている場合、ダイナミックビューを作成することはできません。

ダイナミックビューの追加

既存のビューを変更し、カスタムビューとして[マイビュー]に保存できます。

- 1 [デフォルトビュー]または[マイビュー]から、マニュアルビュー以外のビューを選択します。
- 2 必要に応じてビューを変更し、[表示]>[ダイナミックビューの追加]をクリックします。
- 3 新しいビューの名前を、最大 64 文字以内で入力します。

マニュアルビュー

マニュアルビューは、既存のビューから選択されたデバイス、部門またはホストを含むカスタムビューです。

[デバイス]

[一般ビュー]、[性能ビュー]、[カウンタービュー]、[ファームウェアビュー]、[固定資産ビュー]、および[マップビュー]

[部門]

[部門デバイスビュー]、[部門ビュー]

[ホスト]

[ホストビュー]、[ホストドライバービュー]、[ホストキュービュー]

作成後は、必要に応じてマニュアルビューに名前を付けたり、変更したりできます。マニュアルビューでは、[アドバンスドサーチ]は使用できません。別のビューでデバイスまたは部門を選択し、マニュアルビューにドラッグして追加できます。

選択を使用してマニュアルビューを追加

選択したデバイス、部門、またはホストのカスタムビューを作成し、保存できます。

- 1 ビューが表示されている場合、リストまたはマップから 1 つまたは複数のデバイス、部門またはホストを選択します。
- 2 [マイビュー]にある[ビューの管理]アイコンをクリックして、[選択を使用してマニュアルビューを追加]を選択します。
- 3 新しいビューの名前を、最大 64 文字以内で入力します。

マイビューに新規フォルダーを追加

カスタムビュー用にフォルダーを作成できます。

- 1 **【ファイル】**メニューで、**【新規フォルダー】**をクリックします。
- 2 テキストボックスに新しい名前を入力します。
- 3 新しいフォルダー名を保存するには、テキストボックスの外側をクリックするか、**【Enter】**キーを押します。

フォルダーまたはビューの名前を変更

フォルダー名またはビュー名を変更できます。

- 1 **【マイビュー】**で名前を変更するビューまたはフォルダーをクリックして反転表示します。
- 2 **【編集】**メニューで、**【名前を変更】**をクリックします。
- 3 新しい名前を最大 64 文字以内で入力し、テキストボックスの古い名前を変更します。
- 4 新しい名前を保存するには、テキストボックスの外側をクリックするか、**【Enter】**キーを押下します。

ビューからデバイス、部門、またはホストを削除

デバイス、部門、またはホストを削除することによって、カスタムビューで非表示にできます。データベースからはアイテムは削除されません。

- 1 **【マイビュー】**で、マニュアルビューを選択します。
- 2 リストビューで、ビューから削除するデバイス、部門、またはホストを選択します。ビューから複数の項目を選択できます。
- 3 **【編集】**メニューで、**【ビューから削除する】**をクリックします。

参考: **【ビューから削除する】**をクリックした後、確認のダイアログボックスは表示されません。

ビューの更新と保存

【マイビュー】にあるビューを変更すると、そのビューを保存するまでタイトルバーの名前の後にアスタリスクが表示されます。更新したビューを保存するには、**【ビュー】**メニューから、**【ビューの更新】**をクリックします。次のいずれかを実行した後、この機能を使用します。

列の幅または列の順序の変更や、列の追加または削除を行います。

【表示】>**【表示タイプ】**を使用して、ビュータイプを変更します。

リスト列の情報の並べ替えを行います。

ビューの複製

ビューのコピーを作成できます。これは、既存のビューと少しだけ異なる新しいビューを作成する場合などに便利です。

- 1 **【マイビュー】**で、コピーするビューを選択します。
- 2 **【マイビュー】** ツールバーで、**【ビューの管理】**アイコンをクリックして**【複製】**を選択します。
- 3 新しい名前 (64 文字以内) を入力し、**【Enter】** キーを押します。
- 4 必要に応じて新しいビューを変更します。

ビューの削除

カスタムビューを削除できます。削除したビューは、元に戻せません。デフォルトビューは削除できません。

- 1 **【マイビュー】**で、削除するビューを選択します。
- 2 **【編集】**メニューで、**【削除】**をクリックします。

参考: **【削除】**をクリックした後、確認のダイアログボックスは表示されません。

ビューをファイルにエクスポートする

すべての表示情報を CSV または XML ファイルにエクスポートできます。CSV エクスポートは UTF-8 エンコードを使用します。

- 1 ビューで、**【ファイル】**メニューをクリックし、**【エクスポート】>【表示】**をクリックします。
- 2 **【ビューをCSVまたはXMLへエクスポート】**ダイアログボックスで、ファイル名を入力または選択し、ファイル形式 (.XML または .CSV) を選択します。
- 3 **【保存】**をクリックします。

リストをファイルにエクスポート

すべてのリスト情報を CSV または XML ファイルにエクスポートできます。CSV エクスポートは UTF-8 エンコードを使用します。

- 1 表示されている**【デバイス】**または**【部門】**リストビューで、**【ファイル】**メニューをクリックし、**【エクスポート】>【リスト】**をクリックします。
- 2 **【リストをCSVまたはXMLへエクスポート】**ダイアログボックスで、ファイルのパスを入力、または選択します (.CSV または .XML)。
- 3 **【保存】**をクリックします。

デバイス情報をファイルにエクスポートする

すべてのワークスペースデバイスの最新情報を CSV または XML ファイルにエクスポートできます。CSV エクスポートは UTF-8 エンコードを使用します。

- 1 **[デバイス]**ビューで、**[ファイル]**メニューをクリックし、**[エクスポート]**>**[デバイス]**をクリックします。
- 2 **[デバイスを CSV、XML へエクスポート]**ダイアログボックスで、ファイルのパスを入力、または選択します。ファイルの拡張子は **.CSV** または **.XML** である必要があります。
- 3 **[保存]**をクリックします。

表示領域のサイズ変更

[マイビュー]の下に多数のビューが保存されている場合、あるいはビューの名前が非常に長い場合、表示領域のサイズを変更するとビューリストが見やすくなります。

パネルの幅を変更するには、2つのパネルの境界線をクリックして右または左にドラッグします。

[マイビュー]領域の高さを変更するには、**[デフォルトビュー]**の境界線の一番上をクリックして上または下にドラッグします。

更新

デバイス、部門、およびホスト情報は、ポーリングスケジュールにしたがって自動的に更新されます。必要に応じて、1つまたは複数のデバイスの、デバイス、部門、またはホストの情報を手動で更新することができます。次の**[更新]**機能が使用できます。

[更新]

1つまたは複数のデバイスを選択し、**[表示]**>**[更新]**をクリックして選択したデバイスを更新します。

[すべて更新]

[表示]>**[すべて更新]**をクリックして、すべてのビューを更新します。

フォルダーレポート

フォルダーレポートは、カスタムフォルダー内のすべてのビューに対して、部門または部門デバイスについての詳細情報を提供します。フォルダーは、**[部門デバイスビュー]**または**[部門ビュー]**から作成されるカスタムビューを含んでいなければなりません。作成されたフォルダーレポートは、**.CSV**(カンマ区切り)または**.XML**のファイル形式でエクスポートおよび保存できます。

[部門フォルダーレポート]

フォルダーに少なくとも1つの**[部門ビュー]**が含まれていれば、部門レポートを作成することができます。エクスポートされるレポートには、**[部門フォルダーレポート]**ダイアログボックスで選択した部門のみが含まれます。

[部門デバイスフォルダーレポート]

フォルダーに少なくとも1つの**[部門デバイスビュー]**が含まれていれば、部門デバイスレポートを作成することができます。エクスポートされるレポートには、**[部門デバイスのフォルダーレポート]**ダイアログボックスで選択したデバイスのみが含まれます。

フォルダーレポートの作成とエクスポート

【マイビュー】でフォルダーを作成し、【部門デバイスビュー】または【部門ビュー】からのカスタムビューを加えると、部門または部門デバイスレポートを作成およびエクスポートできるようになります。

- 1 希望するフォルダー上で右クリックし、【フォルダーレポート】を選択してから、【部門】または【部門のデバイス】を選択します。
- 2 【部門フォルダーレポート】または【部門デバイスのフォルダーレポート】ダイアログボックスで、レポートに含める 1 つまたは複数の部門もしくはデバイスを選びます。
- 3 【エクスポート】をクリックします。
- 4 【ビューを CSV または XML へエクスポート】ダイアログボックスで、フォーマットタイプを選択し、レポートに名前を付け、【保存】をクリックします。

検索

何らかの特徴を使って、デバイス、部門、ホストを検索する 2 つの検索方法があります。【検索】は、現在表示されているビューのデータを検索します。別のビューに移動すると、入力した文字列は保存されません。【アドバンスドサーチ】では、検索ダイアログボックスで選択した値で、データベース内のすべてのデバイス、部門、またはホストを検索します。

検索

検索では、次の列または【マップビュー】から完全に、もしくは一部一致するものを検索することができます。

デバイス検索: 【表示名】、【IP アドレス】、【ホスト名】、および【モデル名】

部門検索: 【部門コード】

ホスト検索: 【ホスト名】、【ドライバー名】、【キュー名】、【IP アドレス】、【OS 情報】

検索機能は、ビューから上記の列が削除されても、列を検索します。別のビューに移動、または【アドバンスドサーチ】を実行すると、結果は保存されません。検索は、拡張されたデバイス情報エリアは検索しません。

- 1 検索する用語は、テキストボックス内に最大 64 文字で入力してください。入力すると、オリジナルビュー内にあるすべてのデバイス、部門、またはホストのデータを検索します。
- 2 検索対象のテキストをクリアするには、【テキストの検索】ボックスの横にあるアイコンをクリックします。テキストボックス内のテキストが削除され、ビューは検索前のデバイス、部門、またはホストのオリジナルリストに戻ります。

アドバンスドサーチ

【アドバンスドサーチ】機能を使用して、選択した条件と一致する、データベース内のすべてのデバイス、部門、またはホストを検索することができます。検索には、最大 6 つの条件を定義できます。別のビューに変更、または別の検索を実行するまで、検索結果は表示されます。

- 1 **[デフォルトビュー]**で、ビューを選択します。

参考: **[アドバンスドサーチ]**は**[ホストドライバービュー]**および**[ホストキュービュー]**では使用できません。

- 2 **[編集]**メニューで、**[アドバンスドサーチ]**をクリックします。

- 3 **[アドバンスドサーチ]**ダイアログボックスで、検索ロジックを選択します。

[すべての検索条件に合致する]

このオプションは、**[条件]**で指定した検索用語とすべてが一致するデバイス、部門、またはホストを検索します。

[いくつかの検索条件に合致する]

このオプションは、**[条件]**で指定した検索用語と1つ以上が一致するデバイス、部門、またはホストを検索します。

- 4 **[条件]**で、検索で探す機能またはプロパティーを選択します。

[プロパティー]

プロパティーリストごとに、プロパティーを1つ選択します。6つのプロパティーリストが使用できます。プロパティーは、デバイスのモデルによって異なります。

[条件]

指定できる条件は、選択したプロパティーによって異なります。

[値]

ボックスに値を入力または選択します。

- 5 **[OK]**をクリックします。すべてのデバイス、部門、ホストを検索し、選択した条件に一致するデバイス、部門、ホストを表示します。**[マップビュー]**では、オフィスマップに保存された場所にデバイス検索結果が表示されず。

3 デバイス

[デバイス]メニューは、デバイスの検索、デバイスの設定を管理するために使用します。

デバイスの機能についての詳細は、デバイスの**[使用説明書]**を参照してください。ドライバーの機能についての詳細は、**[プリンタードライバー操作手順書]**を参照してください。

デバイスプロパティー

[プロパティー]ダイアログボックスには、選択されたデバイスに関する設定およびステータス情報が表示されます。デバイスのプロパティーを開くには、デバイスを選択し、**[プロパティー]**アイコンをクリックします。設定は、選択したデバイスによって異なります。設定には、次のものが含まれます。

[基本デバイス設定]

このエリアには、デバイスの**[表示名]**、**[モデル]**、**[ステータス]**、**[IP アドレス]**、**[ホスト名]**、**[ロケーション]**、および**[説明]**が表示されます。**[パネルメッセージ]**ボックスには、デバイス操作パネルに現在表示されている情報が表示されます。**[表示名]**、**[ロケーション]**、および**[説明]**は編集可能です。

[デバイスアラート]

このエリアには、現在発生しているアラートに関する説明および対処可能なトラブルシューティングの方法が表示されます。

[用紙設定]

このエリアには現在装着されているトレイおよびカセットの容量と、およびその用紙残量が表示されます。

[性能]

このエリアには、現在選択されているデバイスの主な仕様が表示されます。

[カウンター]

このエリアには、さまざまな種類の用紙、メディア、および出力用の各種のカウンターが表示されます。

[ファームウェアバージョン]

このエリアには、システムの各種パーツのファームウェアバージョンが表示されます。

[メモリー]

このエリアには、ストレージデバイス、オプションのROM、およびRAMディスクの空き容量が表示されます。

[固定資産]

このエリアには、デバイスのネットワークアダプタの**[MAC アドレス]**、デバイス自身の**[シリアル番号]**、組織から割り当てられた**[固定資産番号]**が表示されます。

デバイスプロパティーの表示

デバイスのプロパティーを表示できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[プロパティー]**をクリックして、選択したデバイスの情報を表示します。
- 3 **[更新]**をクリックして、このダイアログボックスが開いている間に変更されたデバイスの設定を更新します。

デバイスプロパティーレポート

デバイスプロパティーレポートは、**[マイビュー]**の現在のデバイスビューにあるデバイスについて詳細な情報を提供します。この機能はマップビューでは使用できません。デバイスプロパティーレポートを使用するには、**[編集]** > **[オプション]** から **[メール設定]** を設定する必要があります。レポートは、複数の受信者に送信すること、日時を指定して送信することが可能です。

レポートは、ビューで表示されているものと同じプリントデバイス情報を含みます。各ビューは1つのデバイスプロパティーレポートを持ち、デバイスビューには合計5つのデバイスプロパティーレポートを作成することができます。

デバイスプロパティーレポートは、ユーザーが指定したレポート名を持ち、指定されたEメールアドレスにEメールを送信することができます。レポートは毎日、毎週、または毎月送信できます。Eメールではユーザー指定のメッセージを件名欄に含めることができます。添付ファイルは .CSV または .XML 形式が可能です。

デバイスプロパティーレポートの作成

- 1 **[マイビュー]** で、デバイスビューを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで **[デバイスプロパティーのレポートを追加]** をクリックします。
- 3 **[デバイスプロパティーのレポートを追加]** ダイアログボックスで、必要に応じてデフォルト設定を変更します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

デバイスプロパティーレポート設定の表示と変更

- 1 **[マイビュー]** で、デバイスビューを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで **[デバイスプロパティーのレポートを表示]** をクリックします。
- 3 **[デバイスプロパティーのレポート]** ダイアログボックスでレポートを選択し、**[プロパティー]** をクリックします。
- 4 **[デバイスプロパティーのレポートを編集]** ダイアログボックスで、必要に応じて設定を変更します。

5 [OK] をクリックします。

デバイスのホームページの表示

Web サーバーを含むデバイスは、デバイスの現在のステータスや設定に関する情報が含まれる Web ページを表示できます。このページに表示されるレイアウトや情報は、デバイスのモデルによって異なります。[デバイス]>[デバイスのホームページ] をクリックしてこの Web ページを表示します。

管理者ログイン

一部のモデルでは、[デバイス] および [部門] メニューから選択する機能にアクセスする際、管理者認証が必要になります。使用できる機能は、デバイスのモデルによって異なります。メニューから機能を選択する際、[管理者ログイン] ダイアログボックスに次のいずれかを入力するよう求められます。

[Command Center のパスワード]

[管理者ログイン] および [ログインパスワード] ([ローカル認証を使用] のオプションを含む)

[部門管理者コード]

複数のデバイスに対して操作を行うと、管理者のログイン情報を確認するダイアログが表示されません。ログインのオプションは、[通信設定] ダイアログボックスの [ログイン] セクションで設定する必要があります。

アドレス帳

[アドレス帳] は、デバイスに保存されている個人およびそのアドレス情報のリストです。個人に関する各エントリは個人アドレスと呼ばれ、個人アドレスはグループに分類できます。個人アドレスおよびグループ情報はデバイスに保存され、ファクスやスキャンの操作に使用されます。

参考: 認証が設定されている場合、アドレス帳にアクセスするには、デバイスの [通信設定] で正しい [ログインユーザー名] および [パスワード] を入力する必要があります。認証が設定されていない場合、機種によってはログインダイアログボックスが表示されます。

各アドレスに含めることのできる情報には、次のものがあります。

[番号]

[名前] (および対応していればフリガナ)

[カバーページ] (受信者、会社名、部署・部門名) この情報はネットワークファクス送信時に使用されます。

[E メール]

[FTP] (ファイル転送プロトコル)

[SMB] (サーバーメッセージブロック)

[ファクス]

[インターネットファクス]

[ワンタッチ] キーを作成して、デバイスの操作パネルのキーを一つ押すだけでアドレス帳が開くようにすることができます。

個人アドレスの追加

デバイスに格納されているアドレス帳に個別のアドレスを追加することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスで、**[個人アドレスの追加]**をクリックします。
- 4 **[個人アドレス設定]**ダイアログボックスで、**[名前]**テキストボックスに個人アドレスの名前を、**[フリガナ]**テキストボックスにフリガナを入力します。
- 5 Eメールなどの宛先を指定して、**[OK]**をクリックして新しいアドレス帳入力を保存します。

グループの追加

アドレス帳のアドレスはグループに分類することができます。これは、たとえばデバイスで特定のタイプのイベントの通知を送信する場合などに便利です。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスで、**[グループの追加]**をクリックします。
- 4 **[グループ設定]**ダイアログボックスで、新しいグループの名前を入力します。名前は自由に決めることができます。
- 5 **[OK]**をクリックします。

グループに個人アドレスを追加

アドレスを検索して既存のグループに追加することができます。1回の追加ごとにデバイスとの通信が必要であるため、ネットワークの状況によっては時間がかかる場合があります。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスでグループを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。
- 4 **[グループ設定]**ダイアログボックスで、**[メンバーの追加]**をクリックします。デバイスから個人アドレスリストがダウンロードされ、ダイアログボックスに表示されます。

- 5 **[グループメンバーの追加]**ダイアログボックスで、1つまたは複数の追加する個人アドレスを選択し、**[追加]**をクリックします。
- 6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
[グループ設定]ダイアログボックスから削除する個人アドレスを選択し、**[メンバーの削除]**アイコンをクリックして個人アドレスを削除できます。

個人アドレスとグループの削除

不要な個人アドレスおよびグループは、アドレス帳から削除できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]** ダイアログボックスで、1つまたは複数の個人アドレスとグループを選択します。
- 4 **[削除]**をクリックし、**[はい]** をクリックして確定します。

デバイスに更新情報が送信されます。

個人アドレスとグループの編集

各個人アドレスまたはグループの **[アドレス帳]** ダイアログボックスに保存されている情報は、必要に応じて編集することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]** ダイアログボックスで、個人アドレスまたはグループを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。
- 4 **[個人アドレス設定]** または **[グループ設定]** ダイアログボックスで情報を編集してから、**[OK]** をクリックして変更を保存します。

ワンタッチキー

デバイスの操作パネルのキーを1つ押すだけで、**[アドレス帳]**の個人やグループにアクセスできます。

お使いのデバイスにより、作成可能な**[ワンタッチキー]**の最大数が異なります。アプリケーションはこの機能を一部のデバイスではサポートしていません。

ワンタッチキーの追加

[アドレス帳]にアクセスするための**[ワンタッチキー]**のリストを作成することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスで、**[ワンタッチキーの表示]**アイコンをクリックして、**[ワンタッチキーの追加]**アイコンをクリックします。
- 4 **[ワンタッチキーの追加]**ダイアログボックスで設定します。
 - [キー名]**
24 文字以内で名前を入力します。
 - [番号]**
番号を選択するか (最大値 1000、最大値は機種によって異なります)、**[自動]**を選択して次に使用できる番号を選択します。
 - [宛先]**
[宛先]をクリックします。 **[ワンタッチキーの宛先]**ダイアログボックスで、個人アドレスまたはグループを選択します。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

[ワンタッチキー]ダイアログボックスからアイテムを削除するには、リストからアイテムを選択し、ツールバーにある**[ワンタッチキーの削除]**をクリックします。

ワンタッチキープロパティの表示と編集

個人アドレスとグループ用の**[ワンタッチキー]**の情報を表示、編集できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスで、**[ワンタッチキーの表示]**アイコンをクリックします。
- 4 **[ワンタッチキー]**ダイアログボックスでリスト項目を選択し、**[ワンタッチキープロパティ]**をクリックして**[ワンタッチ]**キーの詳細を表示します。
- 5 **[ワンタッチキープロパティ]**ダイアログボックスで、**[キー名]**と**[宛先]**を編集できます。
- 6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ワンタッチキーの検索

[ワンタッチキー]ダイアログボックスでは、**[番号]**、**[名前]**、**[アドレス番号]**、**[アドレスの種類]**を使って検索できます。**[ワンタッチキーの宛先]**ダイアログボックスでは、**[番号]**、**[アドレスの種類]**、**[名前]**、**[宛先]**を使って検索できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]** > **[ワンタッチキーの表示]**をクリックします。

- 3 **[ワンタッチキー]** ダイアログボックスの **[検索可能なフィールド]** リストからオプションを選択し、検索したい文字を **[テキストの検索]** ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで **[サーチのクリア]** アイコンをクリックします。

個人アドレスとグループのコピー

個人アドレスおよびグループをコピーできます

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]** ダイアログボックスでコピーする個人アドレスまたはグループを選択し、**[コピー]** をクリックします。
- 4 **[貼り付け]** をクリックします。
- 5 必要に応じて新しい個人アドレスまたはグループを変更します。
- 6 **[閉じる]** をクリックします。

アドレス帳のエクスポート

個人アドレス、グループ、ワンタッチリストをファイルにエクスポートできます。保存後に、マルチセット機能にインポートされます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[アドレス帳]** をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]** ダイアログボックスで、ツールバーにある **[エクスポート]** アイコンをクリックします。
- 4 ファイル名を入力します (.CSV または .XML)。
- 5 **[保存]** をクリックします。
デバイス上の個人アドレス、グループ、ワンタッチリストは全てファイルにエクスポートされます。

アドレス帳の検索

個人アドレスやグループの情報を更新するため、デバイスのアドレス帳を検索することができます。アドレス帳情報は、**[番号]**、**[名前]**、**[Eメール]**、**[FTP]**、**[SMB]**、**[ファクス番号]**、あるいは **[インターネットファクスアドレス]** で検索することができます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アドレス帳]**をクリックします。
- 3 **[アドレス帳]**ダイアログボックスの**[検索可能なフィールド]**リストからオプションを選択し、検索したい文字を**[テキストの検索]**ボックスに入力します。対応していればフリガナで検索できます。
- 4 検索結果をクリアしてアドレス帳全体をもう一度表示するには、**[サーチのクリア]**アイコンをクリックします。

デバイスビュープリンターインストール

プリンタードライバーは、デバイスから印刷する際の各種印刷設定を行います。**[デバイス]**メニューから、プリンタードライバーをインストールできます。インストールすると、ドライバーのアップグレードやアンインストールを行えます。

デバイスビューでプリンタードライバーをインストール

[ドライバーのインストール]ウィザードを使用して、プリンタードライバーをインストールできます。

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[ドライバーをインストール]**をクリックします。
- 3 **[ドライバーのインストール]**ウィザードで、ドライバーをインストールするホストコンピューターを選択します。**[次へ]**をクリックします。1つまたは複数のホストにアクセスできない場合、メッセージが表示されます。
- 4 インストールする1つまたは複数のプリンターモデルを選択します。**[次へ]**をクリックします。
- 5 **[ディスク使用]**をクリックし、インストールされている各ドライバーの有効な.INF ファイルを検索します。**[次へ]**をクリックします。
- 6 **[プリンター設定]**ページで、各プリンタードライバーで選択可能な設定を選びます。ポートは変更できません。次のオプションの設定には、別のダイアログボックスが開きます。
 - [共通設定]**をクリックし、選択したすべてのデバイスに設定を適用できます。
 - [競合]**をクリックして、選択可能なオプションを選びます。
 - [インポート]**をクリックして、構成設定ファイル(.KVP)を選択します。
 - [エクスポート]**をクリックして、現在の構成設定を.KVPファイルに保存します。**[次へ]**をクリックします。
- 7 **[設定を確認]**ページで、設定内容を確認します。

8 **[完了]** をクリックしてプリンタードライバーをインストールします。インストールが完了したら、**[エクスポート]** をクリックしてログファイル(.TXT)を保存できます。

9 **[OK]** をクリックします。

デバイスビューでプリンタードライバーをアップグレード

プリンタードライバーを、新しいバージョンにアップグレードできます。

1 任意の**[デバイス]** ビューで、デバイスを選択します。

2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[ドライバーをアップグレード]** をクリックします。

3 **[ドライバーアップグレード]** ウィザードで、ドライバーがインストールされたホストコンピューターを選択します。**[次へ]** をクリックします。

4 アップグレードするドライバーを選択し、**[次へ]** をクリックします。**[ディスク使用]** をクリックして、アップグレードする各ドライバーの有効な .INF ファイルを選択します。

5 **[設定を確認]** ページで、設定内容を確認します。

6 **[完了]** をクリックして、アップグレードを開始します。アップグレードが終了したら、**[エクスポート]** をクリックしてアップグレードのログファイル(.TXT)を保存できます。

7 **[OK]** をクリックします。

デバイスビューでプリンタードライバーをアンインストール

[ドライバーアンインストール] ウィザードを使用して、プリンタードライバーのアンインストールを行えます。

1 任意の**[デバイス]** ビューで、デバイスを選択します。

2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[ドライバーをアンインストール]** をクリックします。

3 **[ドライバーのアンインストール]** ウィザードで、1つまたは複数のホストを選択します。**[次へ]** をクリックします。

4 アンインストールするドライバーの隣にあるチェックボックスを選択します。各ホストで少なくとも1つのドライバーを選択します。**[次へ]** をクリックします。

5 **[設定の確認]** ページで、設定内容を確認します。

- 6 **[完了]**をクリックして、アンインストールを開始します。アンインストールが終了したら、**[エクスポート]**をクリックしてアンインストールのログファイル(.TXT)を保存できます。
- 7 **[OK]**をクリックします。

ユーザー

デバイスの使用が許可されているユーザーは、ログイン情報およびパスワードがユーザーリストに登録されています。ユーザー認証が設定されていると、デバイスで管理者であるユーザーだけがデバイスのさまざまな機能を使用することができます。

参考: デバイスのユーザーリストにアクセスするには、正しい**[ログインユーザー名]** および**[パスワード]**がデバイスの**[通信設定]**にある必要があります。デバイスにログインパスワードが設定されている場合、管理者だけがユーザーリストを変更することができます。

デバイスユーザーの追加

デバイス上のユーザーリストに、ユーザーを追加できます。**[ユーザーリスト]**は、デバイスの操作やアクセスの権限を与えるユーザーの選択に使用します。

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ユーザー]**をクリックします。
- 3 **[ユーザー]**ダイアログボックスで、**[ユーザーの追加]**をクリックします。
- 4 ダイアログボックスにユーザーに関する情報を入力します。
- 5 **[選択]**をクリックして、使用可能な部門コードを選択します。
- 6 **[管理者アクセスを許可する]**を選択すると、ユーザーがデバイス設定を編集できます。この設定をクリアにすると、ユーザーにはユーザーアクセスのみ編集できます。
- 7 **[拡張機能]**をクリックして、追加のオプションを選択します。使用できるオプションは、モデルによって異なります。

[言語選択]

デフォルトの操作パネル言語を選択します。

[初期画面]

デバイスから、**[デバイスシステム設定]**を選択し、デフォルトの操作パネル画面を選択します。

[送信/ファクス初期画面]

デバイスから**[デバイスシステム設定]** > **[送信設定]**を選択し、デフォルトの操作パネル画面を選択します。

[初期アドレス帳]

ユーザー用にローカルアドレス帳または拡張アドレス帳を選択します。

[お気に入り/アプリケーション初期画面]

デバイスから **[デバイスシステム設定]** > **[プログラム/お気に入り]** (または **[アプリケーション]**) を選択し、デフォルトの操作パネル画面を選択します。

[デフォルトアプリケーション]

ユーザーが物理デバイスに最初にログオンした時に表示されるアプリケーションを選択します。

[IC カード情報]

ユーザー用に IC カードの一意の値 (英数字) を入力します。

[認可]

使用可能なプリントデバイスの認可情報を設定します。

8 [OK] をクリックして新規のデバイスユーザーを作成します。

リストからデバイスユーザーを選択し、**[プロパティ]** をクリックすると編集できます。

リストからデバイスユーザーを選択し、**[ユーザーの削除]** をクリックすると削除できます。

デバイスのユーザーリストをエクスポート

デバイスのユーザーリストを、コンピューターまたはネットワークに保存できます。保存したリストは、マルチセット機能にインポートできます。

- 1 [デバイス]** ビューで、デバイスを選択します。
- 2 [デバイス]** メニューで、**[ユーザー]** をクリックします。
- 3 [ユーザー]** ダイアログボックスで、リストからユーザーを選択します。
- 4 ツールバー** で **[ユーザーのエクスポート]** をクリックします。
- 5** エクスポートのメッセージが表示されます。すべてのユーザーにエクスポートするには **[はい]** を、指定ユーザーにエクスポートするには **[いいえ]** をクリックします。
- 6** 名前を付けてファイル (.CSV または .XML) を保存します。

デバイスユーザーリストの検索

[ユーザー] ダイアログは、**[ログインユーザー名]** または **[ユーザー名]** で検索できます。

- 1 [デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス]** メニューで、**[ユーザー]** をクリックします。
- 3 [ユーザー]** ダイアログボックスで **[検索可能なフィールド]** リストからオプションを選択し、検索したい文字を **[テキストの検索]** ボックスに入力します。対応していればフリガナで検索できます。

- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで **[サーチのクリア]** アイコンをクリックします。

簡単ログインキーの設定

デバイスに対する**[簡単ログイン]**設定を選択できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ユーザー]**をクリックします。
- 3 **[ユーザー]**ダイアログボックスで、**[簡単ログインキーの表示]**をクリックします。
- 4 **[簡単ログインキー]**ダイアログボックスで、**[簡単ログインキーの追加]**をクリックします。
- 5 **[簡単ログインキーの追加]**ダイアログボックスで、アイコンを選択し、名前を32文字以内で入力します。
- 6 **[特定の番号]**を1から20の間で選択するか、**[次の使用可能な番号]**で自動で番号を設定します。
- 7 **[認証モード]**を選択します。

[ローカル認証を使用]を選択した場合は、**[ユーザーリストから選択]**をクリックし、ログインユーザー名を選択します。ログインユーザー名を選択し、**[OK]**をクリックします。

[ネットワーク認証を使用]を選択した場合は、**[ログインユーザー名]**と**[ログインパスワード]**を入力します。
- 8 ログインにパスワードを必要とする場合は、**[パスワード認証]**を**[オン]**にします。パスワードを必要としない場合は、**[オフ]**を選択します。
- 9 **[簡単ログイン]**キーを作成するには、**[追加]**をクリックします。

編集する**[簡単ログイン]**キーを選択し、**[プロパティ]**をクリックすると、編集できます。

削除する簡単ログインキーを選択し、**[簡単ログインキーの削除]**をクリックすると**[簡単ログインキー]**ダイアログボックスから削除できます。

簡単ログインキーリストの検索

[簡単ログインキー番号]または**[簡単ログインキー名]**で**[簡単ログインキー]**ダイアログボックスを検索できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ユーザー]**をクリックします。
- 3 **[ユーザー]**ダイアログボックスの**[検索可能なフィールド]**リストからオプションを選択し、検索したい文字を**[テキストの検索]**ボックスに入力します。

- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで**[サーチのクリア]**アイコンをクリックします。

ジョブ

[ジョブ] から、現在デバイスのキューにあるジョブについての情報を確認できます。ジョブ履歴には処理済みの最新のジョブに関する情報が表示されません。

[印刷ジョブ状況]、**[送信ジョブ状況]**、**[保存ジョブ状況]**、および **[予約ジョブ状況]** の4種類のステータスが使用できます。

[印刷ジョブ履歴]、**[送信ジョブ履歴]**、および **[保存ジョブ履歴]** の3種類のジョブ履歴が使用できます。

ジョブの詳細の表示

特定のジョブに関する詳細な情報を参照することができます。表示される情報は、ジョブタイプによって異なります。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[ジョブ]** をクリックします。
- 3 **[ジョブ]** ダイアログボックスで**[表示]**をクリックし、ジョブ状況またはジョブ履歴を選択します。
- 4 ジョブリストでジョブを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。
- 5 **[ジョブの詳細]** ダイアログボックスでジョブ情報を確認し、終了後**[閉じる]** をクリックします。

ジョブ履歴のエクスポート

ジョブ履歴は、他のアプリケーションで使用するためのファイルとしてエクスポートすることができます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[ジョブ]** をクリックします。
- 3 **[ジョブ]** ダイアログボックスで**[エクスポート]**をクリックし、エクスポートするジョブ履歴を選択します。
- 4 **[参照]** をクリックして、ファイル名およびファイルを保存するロケーションを指定します。
- 5 エクスポートするジョブ履歴の最大行数を、**[最大数]**に入力します。
- 6 **[OK]** をクリックします。

ジョブリストの検索

[ジョブ名] または [ユーザー名] を指定して、特定のジョブの [ジョブ] リストを検索することができます。

- 1 [デバイス] ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス] メニューで、[ジョブ] をクリックします。
- 3 [ジョブ] ダイアログボックスの [検索可能なフィールド] リストでオプションを選択し、[テキストの検索] ボックスに検索したい文字を入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで [サーチのクリア] アイコンをクリックします。

ジョブ保留

[ジョブ保留] を使用すると、ハードディスクに保存されている [一時保存] および [恒久保存] 印刷ジョブを表示できます。保留印刷ジョブは印刷するか、またはハードディスクから削除できます。ジョブ保留リストを印刷することもできます。この機能は、ハードディスクがインストールされている一部のデバイスでサポートされています。

ジョブ保留の表示

ハードディスクに保存された [一時] または [恒久] 印刷ジョブに関する情報を表示することができます。

- 1 [デバイス] ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス] メニューで、[ジョブ保留] をクリックします。
- 3 随時 [更新] をクリックして表示を更新します。

保存ジョブの印刷

ハードディスクに保存された、選択した [一時] または [恒久] ジョブを印刷することができます。

- 1 [デバイス] ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス] メニューで、[ジョブ保留] をクリックします。
- 3 [保存ジョブ] ダイアログボックスで、印刷するジョブを選択します。
- 4 [印刷] をクリックして [選択されたジョブを印刷] を選択します。
- 5 確認ダイアログボックスで [はい] をクリックして印刷します。

ジョブ保留リストの印刷

ハードディスクに保存された [一時] または [恒久] ジョブリストを印刷することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ジョブ保留]**をクリックします。
- 3 **[ジョブ保留]**ダイアログボックスで、**[印刷]**をクリックし、**[一時保存ジョブリストを印刷]**または**[恒久保存ジョブリストを印刷]**を選択します。

ジョブ保留の削除

1つまたは複数の**[一時]**または**[恒久]**印刷ジョブを、ハードディスクから削除することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ジョブ保留]**をクリックします。
- 3 **[ジョブ保留]**ダイアログボックスで、ツールバーから削除オプションを選択します。
 - リストから印刷ジョブを選択します。**[削除]** > **[選択されたジョブを削除]**を順にクリックします。
 - [一時保存]**ジョブを削除するには、**[削除]** > **[一時保存ジョブをすべて削除]**の順にクリックします。
 - [恒久保存]**ジョブを削除するには、**[削除]** > **[恒久保存ジョブをすべて削除]**を選択します。デバイスのすべてのジョブ保留を削除するには**[すべてのジョブを削除]**を選択します。
- 4 確認ダイアログボックスで**[はい]**をクリックして終了します。

ジョブ保留の検索

[ジョブ名]または**[所有者]**を指定して、特定のジョブ保留を検索することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[ジョブ保留]**をクリックします。
- 3 **[ジョブ保留]**ダイアログボックスの**[検索可能なフィールド]**リストからオプションを選択し、検索したい文字を**[テキストの検索]**ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで**[サーチのクリア]**アイコンをクリックします。

文書ボックス

[文書ボックス]は、デバイス上の一種のバーチャルメールボックスです。これはデバイス上に保存されているファイルを管理するために、個人またはグループによって使用されます。

参考: 認証が設定されている場合、文書ボックスにアクセスするには、デバイスの **[通信設定]** で正しい **[ログインユーザー名]** および **[パスワード]** を入力する必要があります。認証が設定されていない場合、機種によってはログインダイアログボックスが表示されます。

文書ボックスの表示と編集

ストレージデバイスの文書ボックスに保存された印刷ジョブに関する情報を、表示および編集することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[文書ボックス]**をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]**ダイアログボックスで、リストから文書ボックスを選択します。
- 4 ツールバーで**[ボックスプロパティ]**をクリックします。
- 5 **[ボックスプロパティ]**ダイアログボックスで、選択した情報を表示および編集できます。編集できるオプションは、機種によって異なります。

[名前]

新規ボックス名を入力します。

[タイプ]

文書ボックスのタイプを表示します。

[番号]

使用可能なボックス番号を選択します。

[所有者]

新規所有者をリストから選択します。

[所有者の設定]

リストから所有者のタイプを選択します。

[ドメイン]

ドメインを選択します。

[使用量]

現在の使用量をメガバイトで表示します。

[使用量制限 (MB)]

1 ~ 30000 MB の間で数値を設定します。

[自動文書削除(日)]

文書ボックスに文書を保存する期間を 1~31 日の間で選択します。

[共有]

複数ユーザーがボックスを共有できるようになります。

[パスワード変更]

必要に応じて、ボックスのパスワードを設定または変更できます。

[上書き保存許可]

ファイル名が同一の場合、新規のファイルが古いファイルの内容を上書きするようになります。

[サブアドレス]

サブアドレスを入力します。Fコードボックスで使用できます。

[印刷後削除]

このオプションを選択すると、印刷後に文書は恒久的に削除されます。

文書ボックスの追加

ストレージデバイスに新規文書ボックスを作成することができます。文書ボックスの最大数は1000個です。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[文書ボックス]**をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]**ダイアログボックスで、**[ボックスの追加]**をクリックします。
- 4 **[ボックスの追加]**ダイアログボックスで、新しいボックスの**[名前]**を入力します。

参考: デフォルトのボックスタイプは、**[ユーザーボックス]**です。一部のデバイスは、ファクス受信用に**[ファクスボックス]**または**[サブアドレス]**もサポートしています。

- 5 パスワード保護された文書ボックスを作成する場合は、パスワードを指定します。
- 6 その他の設定に、値を指定するかデフォルト値を使用します。
- 7 **[OK]**をクリックします。

リストから文書ボックスを選択し、**[ボックスの削除]**をクリックすると削除できます。

文書ボックスのリストをエクスポート

文書ボックスのリストを、コンピューターまたはネットワークに保存できます。保存したリストは、マルチセット機能にインポートできます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[文書ボックス]**をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]**ダイアログボックスで、文書ボックスを選択します。
- 4 ツールバーで**[エクスポート]**を選択し、エクスポートに使用するファイル形式を選択します。

- 5 エクスポートのメッセージが表示されます。すべてのボックスにエクスポートするには【はい】を、選択したボックスにエクスポートするには【いいえ】をクリックします。
これは、マルチセット機能の CSV または XML ファイルのみに適用されます。パスワード付きのユーザーボックスは、マルチセットの CSV 形式または XML 形式を選択した場合、エクスポートされません。
- 6 ファイルに名前を付けて、KX DRIVER CSV 形式、マルチセット CSV 形式、または XML 形式で保存します。
KX DRIVER CSV 形式は、【ファクスボックス】または【Fコードボックス】には使用できません。
【ファクスボックス】と【Fコードボックス】間では、マルチセットはできません。

文書のプロパティの表示

文書ボックスに文書のイメージを表示し、文書のプロパティを表示できます。

- 1 【デバイス】ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 【デバイス】メニューで、【文書ボックス】をクリックします。
- 3 【文書ボックス】ダイアログボックスで表示する文書を選択します。
- 4 ツールバーで【文書のプロパティ】アイコンをクリックします。
- 5 【OK】をクリックします。

文書の表示

文書ボックスで、文書のサムネイルおよびプレビューイメージを表示できます。

- 1 【デバイス】ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 【デバイス】メニューで、【文書ボックス】をクリックします。
- 3 【文書ボックス】ダイアログボックスで、文書ボックスを選択し、【表示】をクリックします。

次のオプションを選択できます。

【サムネイル】

文書イメージのアイコンを表示できます。

【プレビューペイン】

文書のイメージを表示でき、必要に応じて、【表示】>【プレビュー】のオプションを選択し、表示を変更します。

参考: サポートされているオプションは機種によって異なります。

文書のダウンロード

文書ボックスからローカルコンピュータに文書をダウンロードすることができます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[文書ボックス]** をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]** ダイアログボックスで、ダウンロードする文書を選択します。
- 4 **[文書のダウンロード]** をクリックします。
- 5 **[名前を付けて保存]** ダイアログボックスで、ファイルを保存する場所を選択し、ファイル名を入力し、PDF、TIF、JPG、または XPS ファイルタイプを選択して **[保存]** をクリックします。

文書ボックスの検索

文書ボックスで、名前を指定して特定のファイルを検索することができます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[文書ボックス]** をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]** ダイアログボックスの **[検索可能なフィールド]** リストからオプションを選択し、検索したい文字を **[テキストの検索]** ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで **[サーチのクリア]** アイコンをクリックします。

文書ボックス間での文書の移動

同一のデバイス上の文書ボックス間で文書をドラッグできます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[文書ボックス]** をクリックします。
- 3 **[文書ボックス]** ダイアログボックスの **[ユーザーボックス]** で、移動するファイルを含む文書ボックスを選択します。
- 4 1つまたは複数のファイルを選択し、**[ユーザーボックスの]** リストビューから宛先の文書ボックスにドラッグします。
- 5 確認ダイアログボックスで **[はい]** をクリックして終了します。

バーチャルメールボックス

[バーチャルメールボックス] には、ハードディスクに作成されたバーチャルメールボックスの詳細が表示されます。

この機能は、ハードディスクがインストールされている一部のモデルでサポートされています。最大 255 のバーチャルメールボックスを作成できます。

バーチャルメールボックスの表示

ハードディスクのバーチャルメールボックスに関する情報を表示することができます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[バーチャルメールボックス]**をクリックします。
- 3 **[バーチャルメールボックス]**ダイアログボックスの**[検索可能なフィールド]**リストからオプションを選択し、検索したい文字を**[テキストの検索]**ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで**[サーチのクリア]**アイコンをクリックします。
- 5 随時**[すべて更新]**をクリックしてリストを更新します。

バーチャルメールボックスの削除

ハードディスクからバーチャルメールボックスを削除することができます。一度に削除できるバーチャルメールボックスは1つだけです。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[バーチャルメールボックス]**をクリックします。
- 3 **[バーチャルメールボックス]**ダイアログボックスで、バーチャルメールボックスを選択します。
- 4 **[メールボックスを削除]**をクリックし、続いて**[はい]**をクリックして確定します。
パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。入力したパスワードが正しくない場合、バーチャルメールボックスは削除されません。

バーチャルメールボックスリストのエクスポート

バーチャルメールボックスリストを、PC またはネットワークに保存できます。いったん保存すると、プリンタードライバにインポートできます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[バーチャルメールボックス]**をクリックします。
- 3 **[バーチャルメールボックス]**ダイアログボックスでバーチャルメールボックスを選択し、**[リストのエクスポート]**をクリックします。
- 4 ファイルに名前を付けて、保存します。

バーチャルメールボックスの拡張機能オプション

管理者権限がある場合は、次のようにバーチャルメールボックス設定を変更できます。

[VMBの最大サイズ]

数値は、モデルによって0～9999 MBで設定できます。バーチャルメールボックスを使用しないようにするには、「0」を選択します。

[マスターパスワードを変更]

数値を1～65535で設定でき、またパスワードの削除を行うことができます。管理者はマスターパスワードを使用して、バーチャルメールボックスのパスワードを上書き、または変更することができます。

[バーチャルメールボックスをすべて削除]

すべてのメールボックスデータをハードディスクから削除します。

バーチャルメールボックス拡張機能オプションの選択

選択したバーチャルメールボックス機能のオプションを変更できます。

- 1 デバイスを選択します。
- 2 [デバイス]>[バーチャルメールボックス]を順に選択します。
- 3 [バーチャルメールボックス]ダイアログボックスで[詳細設定]をクリックします。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力し[OK]をクリックします。
- 4 希望する設定を選択します。
 - [VMBの最大サイズ]
バーチャルメールボックスのサイズを入力するか、上下の矢印ボタンをクリックして数値を選択します。
 - [マスターパスワードを変更]
[パスワード]をクリックし、旧パスワードと新パスワードを入力して、新パスワードをもう一度入力します。パスワードを削除するには[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認]ボックスを空白のままにします。
 - [バーチャルメールボックスをすべて削除]
[すべて削除]をクリックし、[はい]をクリックして確定します。
- 5 [拡張機能]ダイアログボックスで[OK]をクリックします。
- 6 [バーチャルメールボックス]ダイアログボックスで[終了]をクリックします。

新規バーチャルメールボックスの追加

ハードディスクに新規バーチャルメールボックスを作成することができます。最大255のバーチャルメールボックスをサポートします。

- 1 デバイスを選択します。
- 2 [デバイス]>[バーチャルメールボックス]を順に選択します。

- 3 **[バーチャルメールボックス]** ダイアログボックスで **[新規メールボックス]** をクリックします。
- 4 新しい ID、名前、パスワードを入力します。確認のため、パスワードを再入力し、**[OK]** をクリックします。同じ名称を複数のバーチャルメールボックスに使用することはできません。

バーチャルメールボックスの編集

ハードディスクに保存されたバーチャルメールボックスの名前と、パスワードを設定できます。すべてのバーチャルメールボックスを更新するには、**[すべてを更新]** をクリックします。

- 1 デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** > **[バーチャルメールボックス]** を順に選択します。
- 3 **[バーチャルメールボックス]** ダイアログボックスで、バーチャルメールボックスを選択し、**[メールボックスプロパティ]** をクリックします。
- 4 **[メールボックスプロパティ]** ダイアログボックスで、新しい **[名前]** を入力し、1～65535の範囲でパスワードを入力します。**[新パスワードを確認]** でパスワードをもう一度入力します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

デバイスアプリケーション

[アプリケーションの管理] 機能を使用して、1台以上のデバイスにアプリケーションをインストールできます。リモートでアプリケーションの起動や停止、アンインストールもできます。使用できる機能は、デバイスのモデルによって異なります。

1台のデバイスでアプリケーションを管理するには、**[デバイス]** > **[アプリケーション]** を使用します。

複数のデバイスでアプリケーションを管理するには、**[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[アプリケーションの管理]** を使用します。

アプリケーションをインストール、起動、停止、またはアンインストール前に、デバイスの **SSL** および **IPP over SSL** の設定を有効にする必要があります。一部のモデルでは、**Enhanced WSD over SSL** を有効にします。また、デバイスの**[通信設定]**で、正しいログインパスワードを入力する必要があります。

印刷、コピー、または部門機能の拡張のため、アプリケーションはディーラーまたはサードパーティーによって作成されます。

アプリケーションを複数のデバイスにインストール

[アプリケーションの管理] ウィザードを使用して、複数のデバイスにアプリケーションをインストールできます。アプリケーションをインストールした後は、アプリケーションをすぐに起動することができます。

- 1 任意の**[デバイス]** ビューで、複数のデバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[アプリケーションの管理]**をクリックします。
 - 3 **[アプリケーションの管理]**ウィザードで、**[アプリケーションをインストールする]**を選択します。チェックボックスを選択して、インストール後にアプリケーションを起動するように設定できます。**[次へ]**をクリックします。
 - 4 **[参照]**をクリックして有効なアプリケーションパッケージファイル (PKG) を選択し、**[開く]**をクリックします。**[次へ]**をクリックします。
 - 5 **[インストール後、アプリケーションを起動する]**が選択されていて、選択アプリケーションにライセンスキーが必要な場合は、**[ライセンスキーを適用]**ページが表示されます。管理者から提供されるライセンスキーの選択方法を指定します。
 - [ライセンスキーなしで起動する]**

アプリケーションをライセンスキーなしで起動します。
 - [次のライセンスキーを使用]**

デバイスを選択し、20桁のライセンスキー (4桁ずつハイフン区切り) を入力します。
 - [ライセンスキーのインポート]**

デバイスの有効なライセンスキーファイル (.CSV) を参照し、**[開く]**をクリックします。ディーラーから提供されたファイルを使用できます。デバイスのシリアル番号とライセンスキー用の列を含むライセンスキーファイルを作成することもできます。

.CSV形式が正しくない場合は、メッセージボックスで**[はい]**をクリックします。**[ライセンスキーのマッピング]**ダイアログボックスで、各プロパティのマッピング値を選択します。.CSVファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、**[ファイルにヘッダーあり]**を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。
 - [ライセンスキーをエクスポート]**を選択して、ライセンスキーを .CSV ファイルに保存することができます。**[OK]**をクリックします。

インストール時にアプリケーションを起動していない場合、**[ライセンスキーを適用]**ページは表示されません。

[次へ]をクリックします。
- 6 **[確認]** ページで、設定を確認します。
 - 7 **[完了]**をクリックして、アプリケーションをインストールします。
 - 8 インストールが終了したら、**[ログの保存]** をクリックしてインストールのログファイル (.CSV) を保存できます。

アプリケーションを1台のデバイスにインストール

[アプリケーション]ダイアログボックスを使用して、1台のデバイスにアプリケーションをリモートでインストールできます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[アプリケーション]**をクリックします。

- 3 **[アプリケーション]**ダイアログボックスで、**[新規インストール]**をクリックします。
- 4 **[開く]**ダイアログボックスで、有効なアプリケーションパッケージファイル(.PKG)を参照し、**[開く]**をクリックし、**[はい]**をクリックして確定します。

複数のデバイスにインストールされたアプリケーションを起動

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**>**[拡張機能]**>**[アプリケーションの管理]**をクリックします。
- 3 **[アプリケーションの管理]**ウィザードで、**[アプリケーションを起動する]**を選択します。**[次へ]**をクリックします。
- 4 **[起動するアプリケーションを指定する方法を選択してください]**ページで、アプリケーションの選択方法を選択します。
 - [アプリケーションパッケージを指定]**
[次へ]をクリックし、有効なインストールパッケージファイル(.PKG)を選択します。**[次へ]**をクリックして、手順7へ進みます。
 - [デバイスにインストールされているアプリケーションを指定]**
[次へ]をクリックして、手順5へ進みます。
- 5 **[ソースデバイスの選択]**ページで、デバイスを1つ選択します。**[次へ]**をクリックします。
 認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。
- 6 **[起動するアプリケーションを選択してください]**ページで、起動するアプリケーションを選択します。**[次へ]**をクリックします。
- 7 **[ライセンスキーを適用]**ページで、ライセンスキーを選択する方法を選びます。
 - [ライセンスキーなしで起動]**
 アプリケーションにライセンスキーが必要でない場合に選択します。
 - [次のライセンスキーを使用]**
 有効な20桁のライセンスキー(4桁ずつハイフンで区切る)を入力します。**[OK]**をクリックします。
 - [ライセンスキーのインポート]**
 有効なライセンスキーファイル(.CSV)を参照し、**[開く]**をクリックします。**.CSV**形式が正しくない場合は、メッセージボックスで**[はい]**をクリックします。**[ライセンスキーのマッピング]**ダイアログボックスで、各プロパティのマッピング値を選択します。**.CSV**ファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、**[ファイルにヘッダーあり]**を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。
 - [ライセンスキーをエクスポート]**を選択して、ライセンスキーを**.CSV**ファイルに保存することができます。**[OK]**をクリックします。
 表示されたライセンスキーは、**[ライセンスキーをエクスポート]**をクリックして**.CSV**ファイルに保存することができます。

[次へ] をクリックします。

8 **[確認]** ページで、設定を確認します。

9 **[完了]** をクリックしてアプリケーションを有効にします。

アプリケーションの起動が終了したら、**[ログの保存]** をクリックして起動ログファイル (.CSV) を保存できます。

1 台のデバイスにインストールされたアプリケーションの起動

1 **[デバイス]** ビューで、デバイスを選択します。

2 **[デバイス]** > **[アプリケーション]** をクリックします。

3 **[アプリケーション]** ダイアログボックスで、アプリケーションを選択し、**[起動する]** をクリックします。

4 **[ライセンスキー設定]** ダイアログボックスで、次のライセンスキーオプションを選択します。

[ライセンスキーなしで起動する]

アプリケーションにライセンスキーが必要でない場合に選択します。 **[OK]** をクリックします。

[次のライセンスキーを使用]

有効な 20 桁のライセンスキー (4 桁ずつハイフンで区切る) を入力します。 **[OK]** をクリックします。

5 **[閉じる]** をクリックします。

複数のデバイスにインストールされたアプリケーションを停止

1 任意の**[デバイス]** ビューで、複数のデバイスを選択します。

2 **[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[アプリケーションの管理]** をクリックします。

3 **[アプリケーションの管理]** ウィザードで、**[アプリケーションを停止する]** を選択します。 **[次へ]** をクリックします。

4 **[停止するアプリケーションを指定する方法を選択]** ページで、有効にするアプリケーションの選択方法を選択します。

[アプリケーションパッケージを指定]

[次へ] をクリックし、有効なインストールパッケージファイル (.PKG) を選択します。 **[次へ]** をクリックして、手順 7 へ進みます。

[デバイスにインストールされているアプリケーションを指定]

[次へ] をクリックして、手順 5 へ進みます。

5 **[ソースデバイスを選択してください]** ページで、デバイスを 1 つ選択します。 **[次へ]** をクリックします。

認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。

- 6 **[停止するアプリケーションの選択]** ページで、停止するアプリケーションを選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 7 **[確認]** ページで、設定を確認します。
- 8 **[完了]** をクリックしてアプリケーションを停止します。

1 台のデバイスにインストールされたアプリケーションを停止

- 1 任意の**[デバイス]** ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** > **[アプリケーション]** をクリックします。
- 3 **[アプリケーション]** ダイアログボックスで、アプリケーションを選択し、**[停止]** をクリックします。**[はい]** をクリックして確定します。
- 4 **[閉じる]** をクリックします。

複数のデバイスでインストールされたアプリケーションをアンインストール

- 1 任意の**[デバイス]** ビューで、複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[アプリケーションの管理]** をクリックします。
- 3 **[アプリケーションの管理]** ウィザードで、**[アプリケーションをアンインストールする]** を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[アンインストールするアプリケーションを指定する方法を選択してください]** ページで、アプリケーションの選択方法を選択します。
 - [アプリケーションパッケージを指定]**
[次へ] をクリックし、有効なインストールパッケージファイル (.PKG) を選択します。**[次へ]** をクリックして、手順 7 へ進みます。
 - [デバイスにインストールされているアプリケーションを指定]**
[次へ] をクリックして、手順 5 へ進みます。
- 5 **[ソースデバイスを選択してください]** ページで、デバイスを 1 つ選択します。**[次へ]** をクリックします。

認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。
- 6 **[アンインストールするアプリケーションを選択]** ページで、アンインストールするアプリケーションを選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 7 **[確認]** ページで、設定を確認します。
- 8 **[完了]** をクリックしてアプリケーションをアンインストールします。

1 台のデバイスでインストールされたアプリケーションをアンインストール

- 1 任意の[デバイス]ビューで、デバイスを選択します。
- 2 [デバイス]>[アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション]ダイアログボックスで、アプリケーションを選択し、[アンインストール]をクリックします。[はい]をクリックして確定します。
- 4 [閉じる]をクリックします。

アプリケーションの検索

[アプリケーション]ダイアログボックスでは、[名前]または[バージョン]で検索できます

- 1 [デバイス]ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス]メニューで、[アプリケーション]をクリックします。
- 3 [アプリケーション]ダイアログボックスの [検索可能なフィールド] リストからオプションを選択し、検索したい文字を [テキストの検索] ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで [サーチのクリア] アイコンをクリックします。

証明書を管理

[証明書を管理] の使用により、1 台以上のデバイスに対しデバイス証明書とルート証明書をインポートまたは削除することができます。また、デバイス証明書をプロトコルに割り当てることもできます。1 台のデバイスには、証明書を 1 種類につき 5 つまでインストールできます。

次の 2 種類の証明書をインストールできます。

[デバイス証明書]

デバイスを識別するファイルです。

[ルート証明書]

セキュリティー通信を行うために、デバイスが使用するファイルです。アプリケーションによっては、ルート証明書をサーバー証明書として使用できるものもあります。

[デバイス証明書] 用には、2 つのファイルを提供する必要があります。1 つのファイルは .CSV 形式で、各証明書のデータが、デバイスのシリアル番号、証明書ファイルのファイル名、パスワードの順序で記載されている必要があります。 .ZIP ファイルは、.CSV ファイルに記載されている証明書の、少なくとも 1 つの証明書を含んでいる必要があります。

証明書をインポート

- 1 任意の[デバイス]ビューで、複数のデバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[証明書を管理]** をクリックします。
- 3 **[選択したデバイスでの操作を選択]** ページで、**[証明書をインポート]** を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[証明書タイプを選択]** ページで、**[デバイス証明書]** または **[ルート証明書]** を選択します。
[デバイス証明書] を選択した場合は、設定済み .CSV ファイルを参照し、証明書ファイルを含む .ZIP ファイルを参照します。オプションとして、プロトコルにデバイス証明書を割り当てることもできます。**[選択可能なプロトコル]** リストで関連したプロトコルを選択し、**[選択したプロトコル]** リストに移動します。**[次へ]** をクリックします。
[ルート証明書] を選択した場合は、証明書ファイルを参照します。**[次へ]** をクリックします。
- 5 ターゲットデバイスで実際の処理が始まる前に、**[確認]** ページで最終設定を確認することができます。設定を承諾するには、**[完了]** をクリックします。設定を変更するには、**[戻る]** をクリックします。
- 6 処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動するということを知らせるメッセージが表示されます。**[OK]** をクリックします。
 処理中ページに、証明書処理の状況が表示されます。処理には数分かかることがあります。
- 7 処理完了後、詳細結果ログを表示できます。

証明書を削除

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[証明書を管理]** をクリックします。
- 3 **[選択したデバイスで実行するアクションを選択]** ページで、**[証明書を削除]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[証明書のタイプを選択]** ページで、**[デバイス証明書]** または **[ルート証明書]** を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 5 **[削除する証明書を選択]** ページで、ターゲットデバイス上の証明書を指定する必要があります。**[証明書のサブジェクトを指定]** または **[証明書ファイルの選択]** を選択します。
[証明書のサブジェクトを指定] を選択した場合は、証明書のサブジェクトを識別名 (DN) として入力します。**[次へ]** をクリックします。
[証明書ファイルを選択] を選択した場合は、削除する証明書と同じサブジェクトを持つ証明書を参照します。選択した証明書が要求する場合はパスワードを入力します。**[次へ]** をクリックします。
- 6 ターゲットデバイスで実際の処理が始まる前に、**[確認]** ページで最終設定を確認することができます。設定を承諾するには、**[完了]** をクリックします。設定を変更するには、**[戻る]** をクリックします。

- 7 処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動するということを知らせるメッセージが表示されます。 **[OK]** をクリックします。
処理中ページに、証明書処理の状況が表示されます。 処理には数分かかることがあります。

- 8 処理完了後、詳細結果ログを表示できます。

プロトコルにデバイス証明書を割り当てる

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[証明書を管理]** をクリックします。
- 3 **[選択したデバイスで実行するアクションを選択]** ページで、**[デバイス証明書をプロトコルに割り当てる]** をクリックします。 **[次へ]** をクリックします。
- 4 **[プロトコルに割り当てるデバイス証明書を選択]** ページで、ターゲットデバイス上の証明書を選択する必要があります。 **[証明書のサブジェクトを指定]** または **[証明書ファイルの選択]** を選択します。
[証明書のサブジェクトを指定] を選択した場合は、証明書のサブジェクトを識別名 (DN) として入力します。 **[次へ]** をクリックします。
[証明書ファイルを選択] を選択した場合は、割り当てる証明書と同じサブジェクト持つ証明書を参照します。 選択した証明書が要求する場合はパスワードを入力します。 **[次へ]** をクリックします。
- 5 **[デバイス証明書に割り当てられたプロトコルを選択]** ページで、**[プロトコルを選択]** リストから関連するプロトコルを選択し、**[選択したプロトコル]** リストに移動します。 証明書を割り当てるプロトコルを一つ以上選択します。 **[次へ]** をクリックします。
- 6 ターゲットデバイスで実際の処理が始まる前に、**[確認]** ページで最終設定を確認することができます。 設定を承諾するには、**[完了]** をクリックします。 設定を変更するには、**[戻る]** をクリックします。
- 7 処理終了後にデバイスネットワークが自動的に再起動するということを知らせるメッセージが表示されます。 **[OK]** をクリックします。
処理中ページに、証明書処理の状況が表示されます。 処理には数分かかることがあります。

- 8 処理完了後、詳細結果ログを表示できます。

1台のデバイス上で証明書を管理

- 1 任意の**[デバイス]**ビューで、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[証明書]** をクリックします。
- 3 **[証明書]**ダイアログボックスでは、インストールされた証明書番号、ステータス、サブジェクト、プロトコル (デバイス証明書のみ)、有効期限を表示することができます。

- 4 以下のタスクを実行するには、証明書をひとつ選択しアイコンをクリックします。

[証明書をインポート]

無効な証明書ステータスでのみ、このオプションを使用することができます。[証明書タイプ]は選択した証明書のタイプを表示します。[インストールエリア]は[自動(デフォルト)]を表示します。または、証明書番号を選ぶこともできます。証明書ファイルを参照し、パスワードを入力します。[OK]をクリックします。証明書のデータがデバイスに送信されたことを知らせるメッセージが表示されます。[証明書]ダイアログボックスには更新された証明書情報が表示されます。

[証明書を削除]

有効な証明書ステータスでのみ、このオプションを使用することができます。選択した証明書を本当に削除するかどうかを尋ねられます。[いいえ]を選択すると、削除は実行されません。[はい]を選択すると、削除が実行されていることを知らせるメッセージが表示されます。[証明書]ダイアログボックスには選択した証明書が無効であることが表示されます。

[証明書の詳細]

有効な証明書ステータスでのみ、このオプションを使用することができます。選択した証明書に対して特定の情報が表示されます。[OK]をクリックします。

[デバイス証明書をプロトコルに割り当て]

[デバイス証明書]と有効な証明書ステータスでのみ、このオプションを使用することができます。選択した証明書のプロトコルを選択します。[OK]をクリックします。選択されたプロトコルに証明書を割り当てるためコマンドがデバイスに送信されたことを知らせるメッセージが表示されます。[証明書]ダイアログボックスには更新されたプロトコル情報が表示されます。

- 5 [閉じる]をクリックします。

デバイス通知設定

[通知]機能は、デバイスのステータスの変更をユーザーに通知します。通知方法は3通りあります。ポップアップウィンドウを表示する、Windows イベントログを開く、または指定されたEメールアドレスのリストにEメールを送信します。

Eメール通知を送信するには、TCPポート25が利用可能になっており、ファイアウォールやウイルススキャナーでブロックされていないことが重要です。[編集]>[オプション]>[メール設定]の順に選択して、Eメールの送信機能を設定しておく必要があります。

デバイスのモデルに応じて、いくつかのイベントタイプでデバイス通知を実行することができます。例えば、紙づまりで通知を実行するように設定することができます。

デバイス通知設定

デバイスリストからデバイスを選択して、デバイスのアクティビティに関する警告を表示できます。[通知設定]ダイアログボックスによって、選択されたデバイスの警告オプションが表示できます。

- 1 任意の[デバイス]ビューで、1つまたは複数のデバイスを選択します。
- 2 [デバイス]メニューで、[通知設定]をクリックします。

- 3 **[通知設定]**ダイアログボックスで、**[動作]**から通知の通信方法を選択します。
- 4 **[Eメールの送信先]**を選択すると、最大3つまでEメールアドレスを入力できます。
- 5 **[通知]**で、通知の条件とするイベントを選択します。
- 6 **[OK]**をクリックします。

拡張機能

[デバイス]メニューで、**[拡張機能]**をクリックします。またデバイスを右クリックして**[拡張機能]**を選択することもできます。次の選択が表示されます。

[複数のデバイスを設定]

複数のデバイスに、構成パラメーターを同時に送信する機能です。

[デバイスを再起動]

このウィザードを使用すると、プリントデバイスまたはネットワークデバイスをリモートで起動できます。

[アプリケーションを管理]

このウィザードを使用すると、デバイスにアプリケーションをインストールできます。

[オプション機能を管理]

このウィザードを使用すると、1台以上のデバイスでインストールされているオプション機能を起動できます。

[証明書を管理]

このウィザードを使用すると、暗号化されたデバイスの認証と通信情報を含む、有効な（有効期限内の）証明書ファイルをインポート、割り当て、削除できます。

[ファームウェアのアップグレード]

このウィザードを使用すると、最新のファームウェアをデバイスにインストールできます。

[デバイスデフォルト設定]

この設定では、両面印刷、印刷品質、紙の入出力、またコピー、ファクス、スキャンなどの各設定について、選択されたデバイスのデフォルト設定を設定します。一度に1台のデバイスのみ選択できます。設定は、デバイスのモデルによって異なります。

[デバイスシステム設定]

操作パネル言語、タイマー設定、パネルロックなどについて、選択したデバイスのデフォルト設定を設定します。一度に1台のデバイスのみ選択できます。設定は、デバイスのモデルによって異なります。

[デバイスネットワーク設定]

IPアドレス、Eメール設定、SNMP設定、FTPとSMBのクライアント設定、プロトコル設定など、選択したデバイスのネットワーク設定を設定します。一度に1台のデバイスのみ選択できます。設定は、デバイスのモデルによって異なります。

[ドライバーのインストール]

このウィザードを使用すると、デバイスにプリンタードライバーをインストールできます。

[ドライバーのアップグレード]

このウィザードを使用すると、プリンタードライバーを新しいバージョンにアップグレードできます。

[ドライバーのアンインストール]

このウィザードを使用すると、プリンタードライバーをアンインストールできます。

[認証設定]

ユーザーログイン、LDAP 設定、ID が不明のジョブの許可など、選択したデバイスの認証設定を指定します。一度に 1 台のデバイスのみ選択できます。設定は、デバイスのモデルによって異なります。

[ネットワークグループ]

グループ認可で使用するグループの作成、およびグループ認可のオン、オフが含まれます。これらの設定は、デバイスによっては使用できない場合があります。

[TCP/IP 送信データ]

1 台または複数の選択したデバイスのインタフェースに、データを直接送信します。

デバイスマルチセット

デバイス **[マルチセット]** を使用すると、構成パラメーターを複数のデバイスに同時に送信することができます。

クイックモードでデバイス設定を作成

この設定では、1 つまたは複数のデバイスグループに設定をコピーできます。このモードを使用すると、ソース設定が自動的にコピーされます。

- 1** **[デバイス]** ビューで、設定を変更する 1 つまたは複数のデバイスを選択します。
- 2** **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[複数のデバイスを設定]** をクリックします。
- 3** **[マルチセットモード]** ページで、**[クイックモード]** を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 4** **[デバイスグループ]** ページで、設定を適用するグループを 1 つまたは複数選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 5** **[ソースデバイス]** ページで、リストからデバイスを 1 台選択します。**[次へ]** をクリックします。

参考: ローカル認証がオンの場合、管理者はデバイスの通信設定にある **[ログイン]** セクションにログインユーザー名とパスワードを入力する必要があります。マルチセットを正しく完了するためには、**[通信設定]** のソースと対象デバイスに対するすべての設定およびパスワードが正しくなければなりません。

- 6** **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。

変更が必要な場合は **[戻る]** をクリックしてください。

7 **[完了]** をクリックします。

設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。 **[OK]** をクリックして閉じます。

カスタムモード

この設定では、設定をカスタマイズし、1つまたは複数のデバイスグループに設定をコピーすることができます。コピーする設定や設定のコピー方法を選択できます。次のオプションは、対象デバイスによって **[設定]** ページが異なることがあります。

[デバイスシステム設定]

デバイスの基本設定には、操作パネルの言語、タイマーが含まれ、セキュリティオプションには、パネルおよびインターフェースのロックなどがあります。いくつかの設定はプリントシステムの再起動が必要な場合があります。

[デバイスネットワーク設定]

TCP/IP、セキュリティおよびネットワーク構成の基本設定。いくつかの設定はプリントシステムまたはネットワークの再起動が必要な場合があります。

[デバイスデフォルト設定]

印刷、コピー、スキャン、およびファクスジョブのデフォルト動作を定義する設定で、用紙サイズ、プリンターおよびスキャン印刷品質、デフォルトの用紙種類などが含まれます。

[デバイス認証設定]

デバイスにアクセスするローカルまたはネットワーク認可を定義する設定です。この設定は機種によって異なります。

[デバイスユーザーリスト]

ログインユーザー名、ユーザー名（対応していればフリガナ）、パスワード、Eメールアドレス、部門名、デバイスの部門コード、および管理者アクセスの許可など含まれます。

[デバイスアドレス帳]

番号、名前、フリガナ（使用可能な場合）、Eメール、FTPアドレス、SMBアドレス、ファクス、インターネットファクスアドレス、およびアドレスグループが含まれます。

[デバイス文書ボックス]

ユーザーのユーザーボックスおよびファクスボックスが含まれます。

[デバイスネットワークグループ]

グループ認可で使用するグループの作成、およびグループ認可のオン、オフが含まれます。これらの設定は、デバイスにより利用できない場合があります。

[デバイスバーチャルメールボックス]

バーチャルメールボックス ID、名前、VMB 最大サイズが含まれます。

デバイスからデバイス設定を作成

ソースデバイスからデバイス設定をコピーできます。

1 **[デバイス]** ビューで、設定を変更する1台または複数のデバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[複数のデバイスを設定]** をクリックします。
- 3 **[マルチセットモード]** ページで、**[カスタムモード]** を選択します。 **[次へ]** をクリックします。
- 4 **[デバイスグループ]** ページで、設定を適用するグループを1つまたは複数選択します。 **[次へ]** をクリックします。
- 5 **[設定]** ページで、デバイスにコピーする1つまたは複数の設定を選択します。 **[次へ]** をクリックします。
- 6 **[方法]** ページで、**[デバイスから作成]** をクリックします。
一部の設定では、**[ターゲットデバイスの上書き保存許可]** を選択できます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。
このチェックボックスの選択を解除すると、既存の設定と重複しない部分のみ書き込まれます。
[次へ] をクリックします。
- 7 **[ソースデバイス]** ページで、リストからデバイスを1つクリックします。 **[次へ]** をクリックします。
認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。
- 8 **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。
[設定を編集] が表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。
設定をファイルに保存する場合は、**[ファイルに保存]** をクリックします。設定は、.CSV、.XML および .ZIP 形式のファイルに保存されます。複数の設定を選択した場合、ファイルは .ZIP ファイルとして保存されます。

参考: マルチセットテンプレート (.ZIP) ファイルは、このアプリケーションからのみ生成された XML ファイルで構成されています。

変更が必要な場合は **[戻る]** をクリックしてください。

- 9 **[完了]** をクリックします。
設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。 **[OK]** をクリックして閉じます。
正しく完了すると、ソースデバイスのプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。 **[閉じる]** をクリックします。
プロセスが正常に完了しなかった場合、**[詳細]** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**[エクスポート]** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

ファイルからデバイス設定を作成

既存ファイルからデバイス設定をコピーすることができます。

- 1 **[デバイス]** ビューで、設定を変更する1台または複数のデバイスを選択します。

- 2 **【デバイス】**メニューで、**【拡張機能】 > 【複数のデバイスを設定】**をクリックします。
- 3 **【マルチセットモード】**ページで、**【カスタムモード】**を選択します。**【次へ】**をクリックします。
- 4 **【デバイスグループ】**ページで、設定を適用するグループを1つまたは複数選択します。**【次へ】**をクリックします。
- 5 **【設定】**ページで、デバイスにコピーする1つまたは複数の設定を選択します。**【次へ】**をクリックします。
- 6 **【方法】**ページで、**【ファイルから作成】**をクリックします。
一部の設定では、**【ターゲットデバイスの上書き保存許可】**を選択できます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。
このチェックボックスの選択を解除すると、既存の設定と重複しない部分のみ書き込まれます。
【次へ】をクリックします。
- 7 ファイルパスを入力するか、**【参照】**をクリックして使用するファイルを選択します。次のファイル形式を開くことができます。
現在のソフトウェアバージョンのマルチセットテンプレート (.CSV、.XML または .ZIP)
アドレスエディター のデータファイル (.AED)
ファクスデータ用のアドレスエディター (.FED)
ネットワークファクス用のアドレス帳 (.FDT) サポートはモデルによって異なります。
アドレス帳のデータファイル (.ABF または .CSV)
ユーザーリストのエクスポートファイル (.CSV または .XML)
文書ボックスのリストファイル (.CSV または .XML)
- 8 **【開く】**をクリックします。**【次へ】**をクリックします。
- 9 ステップ 5 で **【デバイスユーザーリスト】**、**【デバイスアドレス帳】**、または**【デバイス文書ボックス】**が選択され、ステップ 7 で .CSV ファイルが選択されると、**【列名を既存のプロパティに割り当ててください】**ページが表示されます。各プロパティに対して、マッピング値を選択します。選択されない項目はスキップします。
.CSV ファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、**【ファイルにヘッダーあり】**を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。
【次へ】をクリックします。
- 10 **【確認】**ページで、選択した内容を確認します。
【設定を編集】 ボタンが表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。

設定をファイルに保存する場合は、**[ファイルに保存]** をクリックします。設定は、.CSV、.XML および .ZIP 形式のファイルに保存されます。複数の設定を選択した場合、ファイルは .ZIP ファイルとして保存されます。

参考: マルチセットテンプレート (.ZIP) ファイルは、このアプリケーションからのみ生成された XML ファイルで構成されています。

変更が必要な場合は **[戻る]** をクリックしてください。

11 **[完了]** をクリックします。

設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして閉じます。

正しく完了すると、ファイルのプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。**[閉じる]** をクリックします。

プロセスが正常に完了しなかった場合、**[詳細]** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**[エクスポート]** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

新規デバイス設定を作成

デバイス設定テンプレートを新規作成することができます。**[デバイスグループ]** ページで複数のモデルが選択された場合、この機能は利用できません。

- 1 **[デバイス]** ビューで、設定を変更する 1 台または複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[複数のデバイスを設定]** をクリックします。
- 3 **[マルチセットモード]** ページで、**[カスタムモード]** を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[デバイスグループ]** ページで、設定を適用するグループを1つ選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 5 **[設定]** ページで、デバイスにコピーする 1 つまたは複数の設定を選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 6 **[方法]** ページで、**[新規作成]** をクリックします。
一部の設定では、**[ターゲットデバイスの上書き保存許可]** を選択できます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。
このチェックボックスの選択を解除すると、既存の設定と重複しない部分のみ書き込まれます。
[次へ] をクリックします。
- 7 **[設定]** ページで複数のオプションが選択されると、**[編集する設定の選択]** ダイアログボックスが表示されます。リストから選択し、**[設定を編集]** をクリックして設定を変更します。
[設定] ページで1つのオプションを選択し、設定を変更します。
[OK] または **[閉じる]** をクリックします。

8 **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。

[設定を編集] ボタンが表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。

設定をファイルに保存する場合は、**[ファイルに保存]** をクリックします。設定は、.CSV、.XML および .ZIP 形式のファイルに保存されます。**[アドレス帳]** は .CSV ファイル形式で保存されます。複数の設定を選択した場合、ファイルは .ZIP ファイルとして保存されます。

参考: マルチセットテンプレート (.ZIP) ファイルは、このアプリケーションからのみ生成された XML ファイルで構成されています。

変更が必要な場合は **[戻る]** をクリックしてください。

9 **[完了]** をクリックします。

設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして閉じます。

正しく完了すると、新しいプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。**[閉じる]** をクリックします。

プロセスが正常に完了しなかった場合、**[詳細]** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**[エクスポート]** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

デバイスを再起動

[デバイスを再起動] で、1つまたは複数のプリントデバイスまたはデバイスネットワークをリモートで再起動することができます。

[デバイス再起動]

選択したプリントデバイスを再起動します。

[ネットワーク再起動]

選択したプリントデバイスのネットワークインターフェイスを再起動します。

デバイスまたはネットワークを再起動

デバイスまたはネットワークをリモートで再起動できます。

1 **[デバイス]** ビューで、1つまたは複数のデバイスを選択します。**2** **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[デバイスを再起動]** をクリックします。**3** 再起動のタイプを選択します。**[次へ]** をクリックします。**4** **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。**5** **[完了]** をクリックします。

認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。

6 **[エクスポート]** をクリックして .CSV ファイルに再起動結果を保存することができます。

オプション機能を管理

【オプション機能を管理】を使用すると、1台以上のデバイスでオプション機能を起動することができます。これらの機能はデバイスファームウェアに含まれています。管理者は、起動に必要な20桁のライセンスキーを持っています。機能の体験版を選択することもできます。

これらの機能の詳細については、**【使用説明書】**を参照してください。

複数のデバイスのオプション機能を起動

- 1 任意の**【デバイス】**ビューで、複数のデバイスを選択します。
- 2 **【デバイス】**メニューで、**【拡張機能】** > **【オプション機能を管理】** をクリックします。
- 3 **【オプション機能】** ページで機能名を選択します。**【次へ】** をクリックします。
- 4 **【起動モード】** ページで、**【正規】** または **【体験版】** を選択します。**【次へ】** をクリックします。
 - 【正規】** を選択した場合、手順5に進みます。
 - 【体験版】** を選択した場合、手順6に進みます。
- 5 **【ライセンスキー】** ページでライセンスキーに追加するデバイスを選択します。デバイスは、同じまたは異なるライセンスキーを使用することができます。
 - 【ライセンスキーを追加】** をクリックし、20桁のライセンスキーを入力します。**【OK】** をクリックします。**【ライセンスキーをエクスポート】** を選択して、ライセンスキーを .CSV ファイルに保存することができます。
 - 【ライセンスキーをインポート】** をクリックしてから、有効なライセンスキーファイル (.CSV) を選択します。ディーラーから提供されたファイルを使用できます。デバイスのシリアル番号とライセンスキー用の列を含むライセンスキーファイルを作成することもできます。
 - .CSV 形式が正しくない場合は、メッセージボックスで**【はい】** をクリックします。**【ライセンスキーのマッピング】** ダイアログボックスで、各プロパティのマッピング値を選択します。 .CSV ファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、**【ファイルにヘッダーあり】** を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。
 - 【ライセンスキーをエクスポート】** を選択して、ライセンスキーを .CSV ファイルに保存することができます。**【OK】** をクリックします。
 - 【次へ】** をクリックします。
- 6 **【確認】** ページで、設定を確認します。
- 7 **【開始】** をクリックします。

ライセンスの進行状況と結果が表示されます。アプリケーションの起動が終了したら、**【ログの保存】** をクリックして起動ログファイル (.CSV) を保存できます。

1台のデバイスのオプション機能を起動

- 1 任意の**【デバイス】**ビューで、デバイスを選択します。

- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[オプション機能を管理]** をクリックします。

認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。

- 3 **[オプション機能]** ページで、次の動作を実行できます。

インストールされているオプション機能の状況を表示します。

1つの機能を選択し、**[ライセンスを起動]** アイコンをクリックして、正式版を起動します。20桁のライセンスキーを入力します。メッセージボックスで**[はい]** をクリックします。**[エクスポート]** をクリックして .CSV ファイルに起動結果を保存することができます。

1つ以上の機能を選択し、**[体験版を起動]** アイコンをクリックして、体験版を起動します。メッセージボックスで**[はい]** をクリックします。**[エクスポート]** をクリックして .CSV ファイルに起動結果を保存することができます。体験版は、**[残っている回数]** がデバイスで使用されるまで、または**[体験版の有効期限]** までの、いずれか早い方まで使用できます。

表示を更新します。

- 4 **[閉じる]** をクリックします。

ファームウェアアップグレード

ここでは、対応しているデバイスにファームウェアをインストールする方法を説明します。マスターファイルから、1台のデバイスまたはデバイスのグループにファームウェアをインストールできます。複数のデバイスをアップグレードする場合、選択したファームウェアのモデルと一致しないデバイスは無視されます。バージョンのアップグレードが必要で適合しているデバイスがない場合、エラーメッセージが表示されます。

マスターファームウェアファイルは、あらかじめ管理者から入手する必要があります。単体デバイスにおいて、選択したファームウェアのファイルバージョンがインストールされているバージョンよりも古い場合、ファームウェアはダウングレードされます。

ファームウェアアップグレードを実行する前に、TCP ポート 800-899 が使用可能であり、ファイアウォールでブロックされていないことを確認してください。

参考: ローカル認証がオンの場合、管理者はログインユーザー名とパスワードを、**[デバイス]** > **[通信設定]** > **[ログイン]** に入力する必要があります。一部のモデルでは、ログインユーザー名とパスワードはサポートしていません。ファームウェアアップグレードを行う前に、通信設定に管理者用のパスワードを入力する必要があります。**[ファームウェアアップグレード]** を正しく完了するには、**[通信設定]** の対象デバイスに対するすべての設定およびパスワードが正しくなければなりません。

ロジカルプリンターの**[ジョブのはじめ]** は空欄にする必要があります。プリントデバイスのホームページから、設定を確認または編集できます。

ファームウェアアップグレードのリスク

このウィザードの使用に関連して、いくつかの潜在的なリスクがあります。ファームウェアのアップグレードを行うにあたっては、事前に管理者またはディーラーに手順を確認し、不具合時の対処方法を確認してください。ウィザードの先頭ページで、この潜在的なリスクについて理解と承諾を求められます。

警告: アップグレード中にデバイスがオフになったり停電になったりすると、デバイスは操作不能となり、サービス担当者によって故障したコンポーネントを交換する必要が発生する場合があります。

ファームウェアをアップグレード

デバイスに最新のファームウェアをインストールするために、このウィザードを使用できます。デバイスで、インストールするファームウェアのバージョンが、インストールされているバージョンよりも古い場合、ファームウェアはダウングレードされます。一度に処理できるデバイスは、最大で5台までです。

- 1 **[デバイス]** ビューで、1台または複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[ファームウェアのアップグレード]** をクリックします。
- 3 **[警告]** ページで、リスクを理解し承諾するチェックボックスを選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[ファームウェアを選択]** ページで、ファームウェアファイルのパスを入力するか、**[参照]** をクリックして有効なファームウェアファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。

参考: ファームウェアのファイルは、このアプリケーションでは提供されていません。ディーラーにお問い合わせください。

- 5 **[選択の確認]** ページ:
ファームウェアファイルの有効性を確認できない場合は、**[戻る]** をクリックし他のファームウェアファイルを選択します。
有効なファームウェアとデバイス情報が表示されたら、**[アップグレード]** をクリックします。
- 6 **[キャンセル]** をクリックすると、まだ開始していないアップグレードをキャンセルできます。現在進行中のアップグレードは、キャンセルできません。
- 7 アップグレード終了後に、ログのコピーを表示、保存、または**[閉じる]** を選択できます。

完了時のオプション

アップグレードの実行中でも、ウィザードの最後のページで次の機能が利用できます。

[ログ]

各デバイスごとにアップグレード情報の詳細を表示します。

[テキストの検索]

[テキストの検索] ボックスに **[IP アドレス]** または **[ホスト名]** の値または値の一部を入力します。検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで **[サーチのクリア]** アイコンをクリックします。

[カウンター]

すべてのアップグレードステータスのデバイス数をカウントして、表示します。

[ログの保存]

クリックして、アップグレードに関する情報を含む .CSV 形式のログファイルを保存します。

[閉じる]/[キャンセル]

アップグレードステータスによって、**[閉じる]** あるいは **[キャンセル]** が表示されます。**[キャンセル]** はアップグレード待機中のデバイスをキャンセルすることができます。既にアップグレード中のデバイスはキャンセルできません。**[閉じる]** はアップグレードが完了したことを示します。

認証設定

[認証設定] は管理者にユーザー認証とネットワークユーザープロパティを管理する便利な方法を提供します。デバイスにつき1つの **[認証設定]** ダイアログボックスだけを開くことができます。(3つの異なるデバイスに対して) 最大3つのダイアログボックスを同時に開くことができます。

ユーザー認証を設定

[認証設定] で管理者は、デバイスへアクセスする際ユーザーログインが求められるように設定できます。**[ローカル認証を使用]** を選択すると、デバイスはログインユーザーの認証に **[デバイスユーザーリスト]** を使用します。**[ネットワーク認証を使用]** を選択すると、デバイスはドメインサーバーを使ってログインユーザーを認証します。サポートはモデルによって異なります。

- 1 デバイスリストからデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[認証設定]** の順にクリックします。
- 3 デバイス設定としてユーザー認証を設定する場合は、**[ユーザーログインを有効にする]** をクリックします。
- 4 認証モードを選択します。

[ローカル認証を使用] を選択している場合は、手順 9 へ進みます。

[ネットワーク認証を使用] を選択すると、その下の関連テキストボックスが使用可能になります。テキストボックスにはASCII 文字のみ使用できません。
- 5 デバイスで使用されているファームウェアのファイル形式によって、ドメイン名 (最大 256 文字まで) を **[ドメイン名]** テキストボックスに入力します。

一部の機種では、登録ドメインのリストから複数のドメインを選択できます。複数のドメインが指定されている場合、どれかひとつをデフォルトに設定します。
- 6 リストから**[サーバータイプ]** を選択します。サーバータイプが **[Ext.]** でない場合、**[サーバータイプ]**、**[ホスト名]** のみ設定できます。
- 7 ホスト名または IP アドレスを **[ホスト名]** テキストボックスに入力します。
- 8 必要に応じて、**[ポート番号]** を入力します。範囲は1 ~ 65535です。
- 9 その先のダイアログボックスに進むか、または **[OK]** をクリックして設定を保存し、ダイアログボックスを閉じることができます。

ID が不明のジョブの許可

デバイスにユーザー制限を付けずに、ユーザーログインおよびパスワードが無い場合でも印刷ジョブを実行させたい場合は、**[IDが不明のジョブを許可する]** チェックボックスを選択します。デフォルトではチェックボックスはチェックされていません。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[認証設定]** をクリックします。
- 3 **[認証設定]** ダイアログボックスで、**[IDが不明のジョブを許可する]** チェックボックスを選択し、**[OK]** をクリックします。

デバイスをユーザーログインで制限したい場合には、**[IDが不明のジョブを許可する]** チェックボックスの選択を外します。デバイスのプリンタープロパティで、**[デバイス設定]** > **[管理者]** をクリックし、**[ユーザーログイン]** を選択する必要があります。あらかじめ特定のユーザー名およびパスワードを入力しておくか、印刷時にダイアログからそれらを入力するかを選択します。

ローカル認可の有効化

この機能をサポートするデバイスで、特定のユーザーによるジョブを禁止できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[認証設定]** をクリックします。
認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。
- 3 **[認証設定]** ダイアログボックスで、**[ローカル認可]** チェックボックスを選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

簡単ログインの有効化

デバイスの**[簡単ログイン]**を有効化できます。この機能のサポートは機種により異なります。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[認証設定]** をクリックします。
認証を求められたら、ログイン名とパスワードを入力します。
- 3 **[認証設定]** ダイアログボックスで、**[簡単ログイン]** チェックボックスを選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

IC カードログイン設定

デバイスに対する IC カードログイン設定を選択できます。IC カードログインは機種により異なり、IC カード認証キットが有効な場合、IC カードログインは可能です。この機能のサポートは機種により異なります。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[認証設定]**をクリックします。
認証を求められたら、ログインとパスワード情報を入力します。
- 3 **[認証設定]**ダイアログボックスの **[IC カードログイン設定]**で、**[キーボードログインを許可]**チェックボックスを選択して、キーボードログインを有効にします。チェックボックスをオフにすると、この機能は無効になります。
- 4 **[キーボードログインを許可]**を選択すると、**[パスワード認証]**チェックボックスを選択してパスワードを求めることができます。
- 5 **[OK]** をクリックします。

ネットワークユーザープロパティの設定

管理者はデバイス設定としてネットワークユーザープロパティを設定できます。ユーザープロパティの設定は、デバイスのモデルによって異なります。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1 台のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[認証設定]**をクリックします。
- 3 **[認証設定]**ダイアログボックスで、**[ネットワークユーザープロパティ]**をクリックします。
- 4 **[ネットワークユーザープロパティ]**ダイアログボックスで、**[ネットワークユーザープロパティの取得]**チェックボックスを選択します。テキストボックスにはASCII 文字のみ使用できます。
- 5 サーバー名を**[サーバー名]**テキストボックスに入力します (最大 64 文字)。
- 6 **[ポート番号]**をリストから選択します。指定できるポート番号は 1 ~ 65535 の範囲です。
- 7 リストから**[検索のタイムアウト (秒)]**を選択します。5 ~ 255 の値を使用してください。
- 8 **[暗号化]**のタイプをリストから選択します。LDAP 暗号化は **[SSL/TLS]**、**[STARTTLS]** または **[オフ]** に設定できます。
- 9 **[認証タイプ]**をリストから選択します。**[簡易認証]** または **[SASL]** から選択します。

- 10** デバイスは LDAP サーバーからのログインユーザー情報の検索と取得に**[ユーザー情報の取得]**設定を使用します。
- 有効なユーザー名を**[名前1]**テキストボックスに入力します (最大 32 文字)。
- 別の有効なユーザー名を**[名前2]**テキストボックスに入力します (最大 32 文字)。
- 有効な E メールアドレスを **[Eメールアドレス]**テキストボックスに入力します (最大 32 文字)。

- 11** **[OK]** をクリックします。

ネットワークグループ

グループを追加、削除、編集、認可、および検索することができます。リストに追加できる最大グループ数は 20 です。

ネットワークグループリスト

[ネットワークグループ]ダイアログボックス上のタイトルに表示されるデバイス名および IP アドレスは、選択されているデバイスです。タイトルの下にある、アイコン付きのツールバーで、グループを追加、削除、編集、認可、および検索することができます。グループのリストを更新すると、最新の状態を表示します。現在選択されているグループ数およびグループの総数が、ダイアログボックス下部に表示されます。ダイアログボックスは水平および垂直方向にサイズを変更したり、最小化、最大化、または復元することができます。

[ネットワークグループ]リストはダイアログボックスに表示されます。ネットワークグループは、アプリケーションに必要な**[その他]**名のグループに加え、20 グループまで追加できます。このグループの情報は太字で表示され、標準的な認可設定であることを示します。リスト中の各行は、追加や編集された際に割り当てられた、各グループの **[ID]** および**[名前]**を含みます。リストは、いずれかの行見出しをクリックすることによって昇順または降順に分類できます。

ネットワークグループの追加または編集

新しくネットワークグループを追加したり、または既存グループの情報を編集することができます。

- 1** メニューバーで、**[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[ネットワークグループ]** をクリックします。
- 2** **[ネットワークグループ]**ダイアログボックスで、**[グループの追加]**をクリックしてグループを追加でき、既存グループを編集する場合は、グループを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。
- 3** **[グループの追加]**ダイアログボックスと**[グループの編集]**ダイアログボックスに含まれる設定項目は同じです。**[その他]**グループでは、**[アクセス レベル]**と**[ジョブ認可設定]**の変更は可能ですが、**[グループID]**と**[グループ名]**の編集はできません。
- 4** **[グループ情報]**の**[グループ ID]**テキストボックスに、10 桁以内で識別番号を入力します。
- 5** **[グループ名]**テキストボックスに、グループの名前を入力します。最大 32 文字までです。

- 6 **[アクセスレベル]**は**[ユーザー]**または**[管理者]**のいずれかを選択してください。デフォルトでは、**[ユーザー]**が選択されています。
- 7 **[ジョブ認可設定]**欄で、オプションのリストから項目を選択します。
両面印刷、ページ集約、エコプリントを含むすべての印刷オプションを許可するには、リストの上にある**[すべて許可]**をクリックします。**[両面制限]**、**[集約制限]**、**[エコプリント制限]**のデフォルトは、**[オフ]**です。
すべての印刷オプションを禁止するには、リストの上にある**[すべて禁止]**をクリックします。設定できるオプションは、機種によって異なります。
- 8 変更を終了後、**[OK]**をクリックしてすべての変更を保存します。選択したデバイスのグループリストに新規グループが追加されるか、あるいは編集した内容が既存のグループに保存されます。

リストからネットワークグループを選択し、**[グループを削除]**をクリックすると削除できます。**[その他]**グループはアプリケーションが使用するため、削除できません。

グループ認可を設定

[グループ認可]とは、すべてのユーザーが、そのグループで許可される操作の範囲です。**[ネットワークグループ]**リストの、すべてのグループの**[グループ認可]**を一度に有効にしたり無効にしたりできます。

- 1 **[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[ネットワークグループ]** をクリックします。
- 2 **[グループ認可を使用]** アイコンをクリックします。
- 3 **[オン]** をクリックすると、グループ認可が有効になります。**[オフ]** をクリックすると、グループ認可が無効になります。**[OK]** をクリックして選択を保存します。

グループリストの検索

[ネットワークグループ]ダイアログボックスで、**[ID]** または **[名前]** を使用して、グループを検索できます。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1台のデバイスを選択します。
- 2 メニューバーで、**[デバイス]** > **[拡張機能]** > **[ネットワークグループ]** をクリックします。
- 3 **[ネットワークグループ]**ダイアログボックスの**[検索可能なフィールド]**リストからオプションを選択し、検索したい文字を**[テキストの検索]**ボックスに入力します。
- 4 検索結果をクリアしてリスト全体をもう一度表示するには、ツールバーで**[サーチのクリア]**アイコンをクリックします。

TCP/IP 送信データ

[TCP/IP 送信データ]機能を使用すると、1つまたは複数の選択されたデバイスのインターフェースに、直接データ (ファイル、テキスト、またはデバイスコマンド) を送信できます。

警告: これは拡張機能です。使用方法を誤ると、デバイスが動作しなくなることがありますので、ご注意ください。

TCP/IP データの送信

デバイスインタフェースにデータを送信するには、次の操作を実行します。

- 1 **[デバイス]**ビューで、1つまたは複数の類似したデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[TCP/IP 送信データ]**をクリックします。
- 3 **[TCP/IP 送信データ]** ダイアログボックスで、TCP ポートまたは IPPS パスを選択します。通信方法として、**[デフォルトTCPポート]**または**[指定されたTCP ポート]**を選択できます。ポート番号は、プリントデバイスのホームページでデバイス用に定義した、いずれかのロジカルプリンターのポート番号と一致する必要があります。範囲は1～65535です。IPPS パスを使用して通信する場合は、**[IPPS]**を選択し、テキストボックスに有効な**[パス]**を入力します。
- 4 データをテキストで送信するには、**[テキスト]**を選択し、テキストボックスにテキストを入力します。このオプションを使用して PRESCRIBE コマンドを送信します。**[履歴]**をクリックすると、過去に送信した10件のテキストにアクセスできます。

ファイルからデバイスにデータを送信するには、**[ファイル]**を選択し、**[参照]** ボタンをクリックして、ファイルを選択します。このオプションを使ってマクロ、または PDF や PRN のような印刷可能ファイルを送信します。

参考: **[テキスト]**と**[ファイル]**のチェックボックスを両方選択すると、アプリケーションは先にテキストデータを送信してからファイルデータを送信します。アプリケーションは**[テキスト]**ボックスに表示される順に **{#FILE#}** コマンドとテキストを送信します。バイナリデータは16進数の **0x** を先頭に追加したストリングを使用したバイト形式でテキストに表示されます。サポートはモデルによって異なります。

- 5 **[送信]**をクリックしてデータを送信します。

4 部門

[部門] メニューは部門を検索し、部門設定を管理するのに使用します。

管理者ログイン

一部のモデルでは、**[デバイス]** および **[部門]** メニューから選択する機能にアクセスする際、管理者認証が必要になります。使用できる機能は、デバイスのモデルによって異なります。メニューから機能を選択する際、**[管理者ログイン]** ダイアログボックスに次のいずれかを入力するよう求められます。

[Command Center のパスワード]

[管理者ログイン] および **[ログインパスワード]** (**[ローカル認証を使用]** のオプションを含む)

[部門管理者コード]

複数のデバイスに対して操作を行うと、管理者のログイン情報を確認するダイアログが表示されません。ログインのオプションは、**[通信設定]** ダイアログボックスの **[ログイン]** セクションで設定する必要があります。

部門デバイスの追加

既存の部門にネットワークデバイスを追加できます。管理対象のデバイスのみを追加できます。

- 1 **[部門ビュー]** で部門を選択します。
- 2 **[部門]** メニューで **[デバイスを部門に追加]** をクリックします。
- 3 **[デバイスを部門に追加]** ダイアログボックスで、利用可能なデバイスを1つまたは複数選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

新規部門の作成

デバイスに部門を作成できます。

- 1 **[部門デバイスビュー]** で、1つまたは複数の管理対象デバイスを選択します。
- 2 **[部門]** メニューで **[新規部門]** をクリックします。
- 3 **[新しい部門]** ダイアログボックスで、最大8桁の **[部門コード]** と最大32文字の **[名前]** を入力します。必要に応じて、**[フリガナ]** を入力します (最大32文字)。
- 4 **[OK]** をクリックします。

部門のプロパティ

[部門のプロパティ] ダイアログボックスは、カウンター情報およびその部門の使用制限に関する情報を含みます。プロパティを表示するには、デバイスを管理対象にする必要があります。ダイアログボックスを表示するには、**[部門]** > **[このデバイスの部門を表示]** をクリックし、続いて **[部門のプロパティ]** を選択します。

[一般]

ID 番号とアカウント名 (フリガナがある場合はフリガナ)

[機能別のカウンター]

印刷、コピー、またはファクス受信したページ数用のカウンター。

[用紙別のカウンター]

各メディアタイプまたはサイズで使用されたページ数のカウンター。

[両面印刷/ページ集約のカウンター]

片面印刷、両面印刷、ページ集約 (なし、2 in 1、4 in 1) 用のカウンター。

[スキャンページのカウンター]

コピー、ファクス、その他の機能でスキャンされたページ数のカウンター。

[ファクス (送信) のカウンター]

ファクスされたページ数および合計送信時間のカウンター。

[タイムスタンプ]

カウンターが最後に更新された日付および時刻。

[印刷の使用制限]

フルカラーまたは単色で印刷できるページ数の制限。

[コピーの使用制限]

フルカラーまたは単色で印刷できるページ数の制限。

[スキャンの使用制限]

スキャンが可能なページ数の制限。

[ファクスの使用制限]

ファクス送信可能なページ数の制限。

[カウンターのリセット]

カウンターをすべて 0 にリセットする。

使用制限

使用制限は、指定のデバイス上の個々の部門に対して設定でき、出力できるページ数などを制限することができます。また、印刷やコピーなどの各機能に対して指定することができ、フルカラー、単色カラー、合計ページ数を制限することができます。

次の3つの設定が使用できます。

[オフ]

使用は制限されません。

[カウンター制限]

管理者は、使用制限値を設定し、最大値に達したら制限値をリセットします。

[使用禁止]

使用が制限されます。

デバイスの部門

[デバイスの部門]を表示するには、**[部門デバイスビュー]**を選択し、**[部門]> [このデバイスの部門を表示]**を選択します。

このダイアログボックスには、このデバイスに登録されている部門に関する情報が表示されます。新規部門をデバイス上に作成したり、既存の部門を追加または削除したりすることができます。部門コードリスト、カウンター情報および部門情報を含む、部門に関するレポートを作成できます。**[テキストの検索]**ボックスで、デバイスの部門一覧を検索することもできます。

部門のデバイス

[部門のデバイス]ダイアログボックスを表示するには、**[部門ビュー]**を選択し、**[部門]> [この部門のデバイスを表示]**をクリックします。

このダイアログボックスは、選択された部門に関連するデバイスのリストを表示します。表示される情報は、各デバイスのモデル名、ネットワーク情報、およびカウンター情報を含みます。この部門からデバイスを追加または削除できます。部門コードリスト、カウンター情報および部門情報を含む、部門に関するレポートを作成できます。**[テキストの検索]**ボックスで、デバイス一覧を検索することもできます。

部門とデバイスの表示

各デバイスおよび各部門が登録されている、デバイスの部門を表示することができます。管理対象のデバイスだけ表示できます。

- 1 デバイスまたは部門を選択してください。
[部門ビュー]で部門を選択します。
[部門デバイスビュー]で、管理対象デバイスを選択します。
- 2 **[部門]**メニューで**[この部門のデバイスを表示]**、または**[このデバイスの部門を表示]**を選択します。

部門情報をファイルにエクスポート

表示された**[部門]**ビューで、部門情報を **.CSV** または **.XML** ファイルにエクスポートできます。**[部門コード]**は **.CSV** ファイルにのみエクスポートできます。**.CSV** ファイルへのエクスポートは、**UTF-8** エンコードを使用します。

- 1 **[部門]**ビューで部門を選択します。
- 2 **[ファイル]**メニューで、**[エクスポート]> [部門]**をクリックして、エクスポートのオプションを選択します。
[部門コード]
プリンタードライバーにインポート可能な部門コードリストをエクスポートします。
[カウンター]
デバイスのカウンター情報をエクスポートします。
[情報]

デバイス部門情報をエクスポートします。

- 3** **[エクスポート]**ダイアログボックスで、ファイルパスを入力、または選択します。ファイルの種類によっては、ファイルの拡張子は **.CSV** または **.XML** である必要があります。
- 4** ファイルに名前を付けて、保存します。

デバイスの部門情報をファイルにエクスポート

[部門デバイスビュー] が表示されている場合、デバイスの部門情報を **.CSV** または **.XML** ファイルにエクスポートできます。 **[部門コード]** は **.CSV** ファイルにのみエクスポートできます。 **.CSV** ファイルへのエクスポートは、**UTF-8** エンコードを使用します。

- 1** **[部門デバイスビュー]** で、デバイスを選択します。
- 2** **[部門]** メニューで **[このデバイスの部門を表示]** をクリックします。
- 3** **[デバイスの部門]** ダイアログボックスで **[エクスポート]** をクリックし、エクスポートオプションを選択します。
 - [部門コード]**
プリンタードライバーにインポート可能な部門コードリストをエクスポートします。
 - [カウンター]**
デバイスのカウンター情報をエクスポートします。
 - [情報]**
デバイスの部門情報をエクスポートします。
 - [プロパティ]**
すべての部門のプロパティ情報をエクスポートします。
- 4** エクスポートのメッセージが表示されます。すべての部門情報をエクスポートするには **[はい]** を、指定した部門情報をエクスポートするには **[いいえ]** をクリックします。
- 5** **[別名で保存]** ダイアログボックスで、ファイルパスを入力、または選択します。ファイルの種類によっては、ファイルの拡張子が **.CSV** または **.XML** である必要があります。
- 6** ファイルに名前を付けて、保存します。

カウンターレポート

カウンターレポートは、**[マイビュー]** の現在の部門ビューにあるカウンターについて詳細な情報を提供します。カウンターレポートを使用するには、**[編集]** > **[オプション]** から **[メール設定]** を設定する必要があります。レポートは、複数の受信者に送信すること、日時を指定して送信することが可能です。

レポートは、ビューで表示されているものと同じプリントシステムおよびカウンター情報を含みます。各ビューに1つのカウンターレポートを作成することができ、部門ビューには合計 **5** つのカウンターレポートが作成できます。

カウンターレポートは、ユーザーが指定したレポート名を持ち、指定された E メールアドレスに E メールを送信することができます。レポートは毎日、毎週、または毎月送信できます。E メールではユーザー指定のメッセージを件名欄に含めることができます。添付ファイルは .CSV または .XML 形式が可能です。

カウンターの自動リセット

この機能は、カウンターレポートが問題なく送信されたときに、デバイスのカウンターをゼロにリセットします。カウンターレポートがうまく送信されない場合、リセットは実行されません。

カウンターレポートの作成

- 1 **[マイビュー]** で部門ビューを選択します。
- 2 **[部門]** メニューで、**[カウンターレポートを追加]** をクリックします。
- 3 **[カウンターレポートを追加]** ダイアログボックスで、必要に応じて設定を変更します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

カウンターレポート設定の表示と変更

- 1 **[マイビュー]** で部門ビューを選択します。
- 2 **[部門]** メニューで、**[カウンターレポートの表示]** をクリックします。
- 3 **[カウンターレポート]** ダイアログボックスでレポートを選択し、**[プロパティ]** をクリックします。
- 4 **[カウンターレポートプロパティ]** ダイアログボックスで、必要に応じて設定を変更します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

デバイスの管理

管理対象の部門デバイスの場合、通知およびレポート機能の使用、部門の作成および表示、およびカウンターのリセットが可能です。管理対象外のデバイスでは、制限された機能しか使用できません。

部門デバイスの管理

部門デバイスを管理するには、次の手順で行います。

- 1 **[部門デバイスビュー]** で、管理対象外のデバイスを選択します。
- 2 **[部門]** メニューで、**[デバイスの管理]** をクリックします。
- 3 パスワードを入力するダイアログが表示される場合があります。

管理対象デバイスを管理対象外にするには、デバイスを選択し **[部門] > [デバイスを管理対象外にする]** をクリックし、**[はい]** をクリックして確定します。

管理対象外デバイスの表示/非表示

[部門デバイスビュー] は、すべての部門デバイスを表示したり、管理対象デバイスだけを表示することができます。

ツールバーで、**[管理対象外のデバイスの非表示]** をクリッすると、管理対象外デバイスをビューで非表示にします。

ツールバーで、**[管理対象外のデバイスの表示]** を再びクリックすると管理対象外デバイスを表示します。

カウンターのリセット

1つまたは複数のデバイスの部門管理カウンターを、ゼロにリセットできます。この機能を利用するには、デバイスを **[部門デバイスビュー]** で管理対象に設定しておく必要があります。

部門管理カウンターのリセット

部門管理カウンターをリセットできます。

- 1 **[部門ビュー]** または **[部門デバイスビュー]** で、1つまたは複数の部門を選ぶか、管理対象デバイスを選びます。
- 2 **[部門]** メニューで **[カウンターのリセット]** をクリックします。
- 3 **[はい]** をクリックして確定します。

部門通知設定

[通知設定] は、デバイスのカウンターステータスの変化をユーザーに通知するために使用します。通知には、ポップアップウィンドウまたは Windows イベントログの表示、Eメール送信 (受信者最高3人まで) の3種類があります。Eメール通知を送信するには、TCPポート25が利用可能になっており、ファイアウォールやウイルススキャナーでブロックされていないことが重要です。**[編集] > [オプション] > [メール設定]** の順に選択して、送信者のEメールを指定する必要があります。設定されていないと、**[通知設定]** の **[Eメールの送信先]** オプションが使用できません。

部門通知の設定

部門リストからデバイスを選択して、デバイスのアクティビティに関する警告を表示できます。**[通知設定]** ダイアログボックスによって、選択されたデバイスの警告オプションが表示できます。

- 1 **[部門デバイスビュー]** で、管理対象デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[通知設定]** をクリックします。
- 3 **[通知設定]** ダイアログボックスで、**[動作]** から通知の通信方法を選択します。
- 4 **[Eメールの送信先]** を選択すると、最大3つまでEメールアドレスが入力できます。

- 5 [通知] で、通知の条件とするイベントを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

デバイスの部門管理設定

[デバイスの部門管理設定]ダイアログボックスは、デバイスの制御や監視に関する設定を行います。選択したデバイスに接続するには、デバイスで使用されている認証方法によって、**[ログインユーザー名]**と**[パスワード]**、または**[部門管理者コード]**を正しく設定する必要があります。情報はデバイスから読み取られ、**[一般]**のダイアログボックスの上部に表示されます。他のオプションを表示するには、リスト名の別の行をクリックします。

[部門管理]、**[用紙種類]**、**[エラーハンドリング]**、**[その他]**でオプションを指定できます。選択したデバイスでサポートされていないオプションは表示されません。

デバイスの部門管理設定へのアクセス

デバイスの制御および監視オプションを提供する、ダイアログボックスを開くことができます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、管理対象デバイス上を右クリックし、メニューで**[デバイスの部門管理設定]**をクリックします。
- 2 **[デバイスの部門管理設定]**ダイアログボックスで、選択したデバイスに対し、次のオプションの表示または選択ができます。

- [一般]
- [部門管理]
- [用紙種類]
- [エラーハンドリング]
- [その他]

部門管理の有効化/無効化

部門管理設定を有効化/無効化して、選択したデバイス上に特定機能のカウントを保持することができます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、管理対象デバイス上を右クリックし、メニューで**[デバイスの部門管理設定]**をクリックします。
- 2 **[デバイスの部門管理設定]**ダイアログボックスで、**[部門管理]**をクリックします。
- 3 **[部門管理]** を有効化に設定し、使用できるオプションを有効または無効にします。
 - [コピーの部門管理]
 - [印刷の部門管理]
 - [スキャンの部門管理]
 - [FAX の部門管理]

- 4 **[部門管理]**オプションの選択を終えた後、ダイアログボックス内で他のオプションを選択するか、**[OK]**をクリックして選択した内容を保存することができます。選択したもののいずれも保存しない場合は**[キャンセル]**をクリックします。

用紙種類カウンターを選択

デバイスの用紙のサイズおよび種類別にページ数を記録するカウンターを選択することができます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、管理対象デバイス上を右クリックし、メニューで**[デバイスの部門管理設定]**をクリックします。
- 2 **[デバイスの部門管理設定]**ダイアログボックスで、**[用紙種類]**をクリックします。
- 3 各項目に対し、リストから用紙の**[サイズ]**と**[タイプ]**を選択します。
- 4 **[用紙種類]**オプションの選択を終えた後、ダイアログボックス内で他のオプションを選択するか、**[OK]**をクリックして選択した内容を保存することができます。選択したもののいずれも保存しない場合は**[キャンセル]**をクリックします。

エラーハンドリング

エラーが発生した場合の処理を設定できます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、管理対象デバイス上を右クリックし、メニューで**[デバイスの部門管理設定]**をクリックします。
- 2 **[デバイスの部門管理設定]**ダイアログボックスで、**[エラーハンドリング]**をクリックします。
- 3 次のエラーレポートの印刷を選択することができます。
 - [不正な部門エラー時にレポートを印刷する]**
 - [カウンター制限を越えたらレポートを印刷する]**
- 4 次のエラーについては、ジョブをキャンセルするか、または警告を発することができます。
 - [不正な部門エラー時にジョブをキャンセルする]**
 - [カウンター制限を越えたジョブをキャンセルする]**リストのそれぞれから、**[次ジョブから禁止]**、**[即時禁止]**、**[警告のみ]**を選択します。
- 5 **[エラーハンドリング]**オプションの選択を終えた後、ダイアログボックス内で他のオプションを選択するか、**[OK]**をクリックして選択した内容を保存することができます。選択したもののいずれも保存しない場合は**[キャンセル]**をクリックします。

処理の許可およびコピーカウンターの設定

部門コードがないジョブの処理を許可または禁止できます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、管理対象デバイス上を右クリックし、メニューで**[デバイスの部門管理設定]**をクリックします。
- 2 **[デバイスの部門管理設定]**ダイアログボックスで、**[その他]**をクリックします。
- 3 部門コードのないジョブの処理を拒否するには、リストから**[拒否]**を選択します。部門コードのないジョブの処理を許可するには、**[許可]**を選択します。
- 4 コピーページカウントと印刷ページカウントを分割したい場合は、**[個別]**を選択します。コピーページカウントと印刷ページカウントを合計したい場合は、**[合計]**を選択します。
- 5 **[その他]**オプションの選択を終えた後、ダイアログボックス内で他のオプションを選択するか、**[OK]**をクリックして選択した内容を保存することができます。選択したもののいずれも保存しない場合は**[キャンセル]**をクリックします。

部門のマルチセット

部門の**[マルチセット]**で、デバイス部門の構成パラメーターを複数のデバイスに同時に送信することができます。

[設定] ページにある次のオプションは、デバイスによって異なることがあります。

[デバイスの部門管理設定]

[部門管理]、**[用紙種類]**、**[エラーハンドリング]**、**[部門コードがないジョブの処理を許可]**、および**[コピーカウンター設定]**の設定です。

[部門リスト]

これは、印刷、コピー、スキャンおよびファクスのカウント情報を伴う、デバイスの部門のリストです。

デバイスから部門設定を作成

ソースデバイスから部門設定をコピーできます。

- 1 **[部門デバイスビュー]**で、設定を変更する1台または複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]**メニューで、**[拡張機能]** > **[複数の部門デバイスを設定]**をクリックします。
- 3 **[デバイスグループ]** ページでは、**[マルチセット]**のサポート状況によって、選択したデバイスをフィルターします。デバイスはモデルグループ別にまとめられています。
設定を適用するグループを1つ選択します。
[次へ]をクリックします。
- 4 **[設定]** ページで、デバイスにコピーする設定カテゴリを選択します。各**[マルチセット]**プロセスに対して、1つのカテゴリの設定のみが選択できます。
[次へ]をクリックします。

- 5 **[方法]** ページで、**[デバイスから作成]** をクリックします。
手順 4 で **[部門リスト]** を選択した場合、**[ターゲットデバイスの上書き保存許可]** が表示されます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。デバイスにある既存の部門カウンターを残すか、それともリセットするかを選択します。
[次へ] をクリックします。
- 6 **[ソースデバイス]** ページで、リストからデバイスを 1 台選択します。**[次へ]** をクリックします。
- 7 **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。
[設定を編集] ボタンが表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。
設定をファイルに保存する場合は、**[ファイルに保存]** をクリックします。設定は、.CSV または .XML 形式のファイルに保存されます。
変更が必要な場合は **[戻る]** をクリックしてください。
- 8 **[完了]** をクリックします。
正しく完了すると、ソースデバイスのプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。**[閉じる]** をクリックします。
プロセスが正常に完了しなかった場合、**[詳細]** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**[エクスポート]** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

ファイルから部門設定を作成

既存のファイルから、設定テンプレートを作成することができます。

- 1 **[部門デバイスビュー]** で、設定を変更する 1 台または複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[複数の部門デバイスを設定]** をクリックします。
- 3 **[デバイスグループ]** ページでは、**[マルチセット]** のサポート状況によって、選択したデバイスをフィルターします。デバイスはモデルグループ別にまとめられています。
設定を適用するグループを 1 つ選択します。
[次へ] をクリックします。
- 4 **[設定]** ページで、デバイスにコピーする設定カテゴリを選択します。各**[マルチセット]** プロセスに対して、1 つのカテゴリの設定のみが選択できます。**[次へ]** をクリックします。
- 5 **[方法]** ページで、**[ファイルから作成]** をクリックします。
手順 4 で **[部門リスト]** を選択した場合、**[ターゲットデバイスの上書き保存許可]** が表示されます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。デバイスにある既存の部門カウンターを残すか、それともリセットするかを選択します。
[次へ] をクリックします。

- 6** **【ソースファイル】** ページでファイルパスを入力するか、**【参照】** をクリックして使用するファイルを選択します。次のフォーマットのファイルを開けます。
- 現在のソフトウェアバージョンのマルチセットテンプレート (.CSV または .XML)
- 部門設定を **【マルチセット】** にインポートするための .CSV ファイルは部門コード (数字)、部門名、および対応していればフリガナを含んでいる必要があります。ファイルのヘッダーには **【部門コード】**、**【部門名】**、対応していれば**【フリガナ】**、**【印刷 (合計)】** などを設定できます。必要であれば、カラムの順番を並び替えることができます。 .CSV ファイルのデータフォーマットは次のようになります。
- 部門コード 1, 部門名 1, フリガナ 1, 印刷 (合計)...
- 部門コード 2, 部門名 2, フリガナ 2, 印刷 (合計)...
- .CSV ファイルのデータフォーマットの例:
- 1, 部門1a, プモン1b, 1(500)
- 2, 部門2a, プモン2b, 1(500)
- 1 と 2 は部門コード、部門1a と 部門2a は部門名、プモン1b と プモン2b はフリガナ、1(500) は印刷カウンターに適用された使用制限となります。(値 0 は、制限なしで印刷できることを示し、1(500) は、500 ページ印刷できることを示し、2 は、このアカウントに対し許可されている印刷がないことを示します。)
- 7** **【開く】** をクリックします。 **【次へ】** をクリックします。
- 8** 手順 4 で **【部門リスト】** が選択され、手順 6 で .CSV ファイルが選択された場合、**【CSV 列を適切な部門リストプロパティにマップする】** ページが表示されます。各プロパティに対して、マッピング値を選択します。選択されない項目はスキップします。
- .CSV ファイルの最初の行にヘッダーが含まれる場合は、**【ファイルにヘッダーあり】** を選択します。ファイルの最初の行は無視され、データだけが使用されます。
- 【次へ】** をクリックします。
- 9** **【確認】** ページで、選択した内容を確認します。
- 【設定を編集】** ボタンが表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。
- 設定をファイルに保存する場合は、**【ファイルに保存】** をクリックします。設定は、.CSV、.XML および .ZIP 形式のファイルに保存されます。複数の設定を選択した場合、ファイルは .ZIP ファイルとして保存されます。
- 10** **【完了】** をクリックします。
- 設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。 **【OK】** をクリックして閉じます。
- 正しく完了すると、ファイルのプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。 **【閉じる】** をクリックします。
- プロセスが正常に完了しなかった場合、**【詳細】** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**【エクスポート】** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

新規部門設定を作成

新規部門設定のテンプレートを作成することができます。

- 1 **[部門デバイスビュー]** で、設定を変更する 1 台または複数のデバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[拡張機能]** > **[複数の部門デバイスを設定]** をクリックします。
- 3 **[デバイスグループ]** ページでは、**[マルチセット]** のサポート状況によって、選択したデバイスをフィルターします。デバイスはモデルグループ別にまとめられています。
設定を適用するグループを 1 つ選択します。
[次へ] をクリックします。
- 4 **[設定]** ページで、デバイスにコピーする設定カテゴリを選択します。各**[マルチセット]** プロセスに対して、1 つのカテゴリの設定のみが選択できます。
[次へ] をクリックします。
- 5 **[方法]** ページで、**[新規作成]** をクリックします。
手順 4 で**[部門リスト]** を選択した場合、**[ターゲットデバイスの上書き保存許可]** が表示されます。選択すると、設定テンプレートが現在のデバイス設定にコピーされます。デバイスにある既存の部門カウンターを残すか、それともリセットするかを選択します。
[次へ] をクリックします。
- 6 **[デバイスの部門]** ダイアログボックスで新規部門を作成または追加し、部門プロパティを選択します。**[閉じる]** をクリックします。
- 7 **[確認]** ページで、選択した内容を確認します。
[設定を編集] ボタンが表示され、ボタンをクリックして開いたダイアログボックスから、設定の変更ができます。
設定をファイルに保存する場合は、**[ファイルに保存]** をクリックします。設定は、.CSV または .XML 形式のファイルに保存されます。
- 8 **[完了]** をクリックします。
設定を保存するためにデバイスの再起動が必要な場合は、メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして閉じます。
正しく完了すると、ファイルのプロパティまたは設定がターゲットデバイスにコピーされます。**[閉じる]** をクリックします。
プロセスが正常に完了しなかった場合、**[詳細]** をクリックして、エラーリストを表示できます。エラーリストを保存するには、**[エクスポート]** をクリックしてダイアログボックスを開き、.CSV 形式でログファイルに保存します。

エクスポート

デバイス部門または部門デバイスを表示する場合、表示される情報を PC またはネットワーク上で、CSV または XML ファイルにエクスポートして保存できます。次のエクスポートオプションを使用できます。

[部門コード]: 部門コードのリストを表示します。このファイルはプリンタードライバーにインポートできます。

[カウンター]: 部門コード別に部門管理カウンターを表示します。

[情報]: すべての部門カウンターを表示します。

[プロパティ]: 部門のプロパティ情報 (**[デバイスの部門]** ダイアログボックスのみ) を表示します。

部門コードリストのエクスポート

- 1** **[マイビュー]** または **[デフォルトビュー]** で部門を選択するか、または部門管理をサポートするデバイスを選択します。
[部門ビュー]: 部門を選択します。
[部門デバイスビュー]: 管理対象デバイスを選択します。
- 2** 手順 1 での選択によって、**[部門]** メニューから **[この部門のデバイスを表示]** または **[このデバイスの部門を表示]** を選択します。
- 3** 1つまたは複数のデバイスまたは部門を選択します。
- 4** ツールバーから **[エクスポート]** > **[部門コード]** をクリックします。
- 5** エクスポートのメッセージが表示されます。すべての部門コードリストにエクスポートするには**[はい]** を、選択した部門にエクスポートするには **[いいえ]** をクリックします。
- 6** ファイルに名前を付けて、保存します。

カウンター情報をエクスポート

- 1** **[マイビュー]** または **[デフォルトビュー]** で部門を選択するか、または部門管理をサポートするデバイスを選択します。
[部門ビュー]: 部門を選択します。
[部門デバイスビュー]: 管理対象デバイスを選択します。
- 2** 手順 1 での選択によって、**[部門]** メニューから **[この部門のデバイスを表示]** または **[このデバイスの部門を表示]** を選択します。
- 3** 1つまたは複数のデバイスまたは部門を選択します。
- 4** ツールバーで、**[エクスポート]** > **[カウンター]** をクリックします。
- 5** エクスポートのメッセージが表示されます。すべての部門カウンターにエクスポートするには**[はい]** を、選択した部門にエクスポートするには **[いいえ]** をクリックします。
- 6** ファイルタイプには **.CSV** または **.XML** を選択します。
- 7** ファイルに名前を付けて、保存します。

部門情報をエクスポート

- 1 **【マイビュー】**または**【デフォルトビュー】**で部門を選択するか、または部門管理をサポートするデバイスを選択します。
【部門ビュー】: 部門を選択します。
【部門デバイスビュー】: 管理対象デバイスを選択します。
- 2 手順 1 での選択によって、**【部門】**メニューから**【この部門のデバイスを表示】**または**【このデバイスの部門を表示】**を選択します。
- 3 1つまたは複数のデバイスまたは部門を選択します。
- 4 ツールバーで**【エクスポート】**>**【情報】**をクリックします。
- 5 エクスポートのメッセージが表示されます。すべての部門情報をエクスポートするには**【はい】**を、選択した部門情報をエクスポートするには**【いいえ】**をクリックします。
- 6 ファイルタイプには**CSV**または**XML**を選択します。
- 7 ファイルに名前を付けて、保存します。

部門のプロパティ情報をエクスポート

- 1 **【マイビュー】**または**【デフォルトビュー】**>**【部門デバイスビュー】**で部門管理をサポートするデバイスを選択します。
- 2 **【部門】**メニューで**【このデバイスの部門を表示】**を選択します。
- 3 1つまたは複数の部門を選択します。
- 4 ツールバーから**【エクスポート】**>**【プロパティ】**をクリックします。
- 5 エクスポートのメッセージが表示されます。すべての部門プロパティにエクスポートするには**【はい】**を、選択した部門プロパティにエクスポートするには**【いいえ】**をクリックします。
- 6 ファイルタイプには**CSV**または**XML**を選択します。
- 7 ファイルに名前を付けて、保存します。

5 ホスト

【ホスト】メニューで、プリンタードライバーおよび印刷キューの管理を行います。ホストPCにプリンタードライバーをリモートでインストールすることも可能です。ホストビューで、ホストコンピューターにプリンタードライバーのインストール、アップグレード、アンインストールができ、またログイン設定を選択できます。

キューの追加

【キューの作成】ウィザードを使用して、**【ホストキュービュー】**リストにキューを追加できます。

- 1** **【ホストキュービュー】**で、**【ホスト】**>**【新しいキュー】**をクリックします。
- 2** **【キューの作成】**ウィザードで、1つまたは複数のホストを選択します。**【次へ】**をクリックします。
必要に応じてドメインログイン機能を選択し、**【OK】**をクリックします。
- 3** プリンターの機種を選択します。**【次へ】**をクリックします。
- 4** **【ディスク使用】**をクリックし、プリンターに有効な32ビットまたは64ビット(または両方)の.INFファイルを選択し、**【OK】**をクリックします。**【次へ】**をクリックします。
- 5** 各ホストの選択可能な設定を変更します。一部のオプションをクリックすると、別のダイアログボックスが開きます。
- 6** **【インポート】**をクリックすると、選択したドライバーの設定ファイル(.KVP)を参照でき、また、**【エクスポート】**をクリックして現在の設定を保存できます。
- 7** **【共通設定】**をクリックし、選択した各プリンターに設定を適用できます。
- 8** **【競合】**をクリックし、選択可能な機能を選びます。
- 9** **【プリンター設定】**ページで変更を終えたら、**【次へ】**をクリックします。
- 10** **【設定の確認】**ページで、設定内容を確認します。
- 11** **【完了】**をクリックして新しいキューを作成します。**【エクスポート】**をクリックすると、エクスポートファイルを作成でき、また**【OK】**をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

リストからキューを選択し、**【キューの削除】**をクリックするとキューを削除できます。

共通設定のオプション

新しいキューを作成している場合、またはプリンターをインストールしている場合は、**【共通設定】**機能を使って、選択したすべてのプリンター機種に設定を適用することができます。この機能は、デバイスドライバーのみに有効です。

【キューを作成】ウィザードの**【プリンター設定】**ページで、**【共通設定】**をクリックして選択可能なオプションを選びます。

【初期設定】で、**【はい】**または**【いいえ】**を選択します。**【はい】**を選択した場合は、参照してプロファイル(.KXP)を見つけ、**【アップロード】**をクリックします。

【プラグイン】で、インストールするために選択可能なプラグインを選びます。

【コメント】ボックスにコメントを入力してください。

【開く】をクリックして、プリンタードライバーの構成設定が保存された.KVP ファイルを参照します。

【保存】をクリックして、現在の構成設定を.KVP ファイルに保存します。

競合オプション

インストールの際に競合してしまう可能性のあるプリンターの設定ができます。既存のプリンター、既存のドライバー、または既存のプリンター名を変更したり、ポート番号をそのまま使用したり変更できます。新しいキューを作成している場合、またはプリンターをインストールしている場合は、次のオプションから選ぶことができます。

【同名のプリンターが存在する場合:】

【設定を保持】

プリンターはインストールされません。

【上書き】

プリンター設定を上書きします。

【ドライバーが存在する場合:】

【何もしない】

既存のドライバーの設定は変更されず、新しいドライバーもインストールされません。

【アップグレード】

ドライバーを新しいバージョンにアップグレードできます。

【共有名が存在する場合:】

【末尾に数字を追加】

新しいプリンター名には“(1)”のように末尾に数字が追加されます。

【失敗】

新しいプリンターはインストールされません。

【共有なし】

このプリンターは共有されません。

【ポートが使用可能でない場合:】

【ファイル:】

ポートは FILE に設定されます。

[LPT1:]

ポートは LPT1 に設定されます。

[失敗]

プリンターはインストールされません。

キュー名の編集

キューの名前を変更することができます。

- 1 **[ホストキュービュー]**で、名前を変更するキューを選択します。
- 2 キューを右クリックして、**[名前の変更]**を選択します。
- 3 **[名前の変更]**ダイアログボックスで、新しい名前をボックスに入力し、**[編集]**をクリックします。
- 4 名前を変更したら、**[完了]**をクリックします。

ホストビュープリンターインストール

プリンタードライバは、デバイスから印刷する際の各種印刷設定を行います。ホスト PC にプリンタードライバをリモートでインストールできます。インストールすると、ドライバのアップグレードやアンインストールを行えます。

プリントスプーラーでクライアント接続を許可

管理者は、ログオンしている全ユーザーの PC に適用するポリシーを設定できます。**[印刷スプーラーにクライアント接続の受け入れを許可する]**ポリシーは、プリントスプーラーへのアクセスを管理します。

- 1 **[グループポリシー]**で、**[コンピューターの構成] > [管理用テンプレート] > [プリンター]**をクリックします。
- 2 **[設定]**リストで、**[印刷スプーラーにクライアント接続の受け入れを許可する]**ポリシーをダブルクリックします。
- 3 **[有効]**を選択すると、印刷スプーラーは常にクライアント接続を許可します。
- 4 **[OK]**をクリックします。
- 5 プリントスプーラーを再起動して、このポリシーへの変更を適用します。

リモート管理の例外を許可する

管理者は、ログオンしている全ユーザーの PC に適用するポリシーを設定できます。**[着信リモート管理の例外を許可する]**ポリシーは、ファイアウォールがオンの場合、リモート接続へのアクセスの例外を管理します。Windows Management Instrumentation (WMI) を使用する PC のリモート管理を許可します。

- 1 **[グループポリシー]** で、**[コンピューターの構成] > [管理用テンプレート] > [ネットワーク] > [ネットワーク接続] > [Windows ファイアーウォール]** をクリックします。
- 2 ドメイン内の PC の場合、**[ドメインプロファイル]** をダブルクリックします。ドメイン内の PC ではない場合、**[標準プロファイル]** をダブルクリックします。
- 3 **[Windows ファイアーウォール: 着信リモート管理の例外を許可する]** をダブルクリックします。
- 4 **[有効]** を選択し、PCのリモート管理を許可します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

ホストビューでプリンタードライバーをインストール

[ドライバーのインストール] ウィザードを使用して、プリンタードライバーをインストールできます。

- 1 **[ホストビュー]** で、1つまたは複数のホストコンピューターを選択します。
- 2 **[ホスト]** メニューで、**[ドライバーのインストール]** をクリックします。
- 3 **[ドライバーのインストール]** ウィザードで、デバイス有りでインストール、またはデバイス無しでインストールを選択します。

デバイスが**[デバイス]**ビューで表示され、ネットワークで使用可能な場合は、**[デバイスありでドライバーをインストール]**を選択します。**[次へ]** をクリックして、すべての使用できるデバイスのリストを表示します。インストールするデバイスのモデルを、1つまたは複数選択し、**[次へ]** をクリックします。**[ディスク使用]** をクリックして、インストールする各ドライバーの有効な .INF ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。**[OK]** をクリックしてダイアログボックスを終了し、**[次へ]** をクリックして次に進みます。

デバイスがネットワークで使用できない場合は、**[デバイスなしでドライバーをインストール]**を選択します。**[次へ]** をクリックし、**[ディスク使用]** と**[参照]** をクリックして、インストールする各ドライバーの有効な .INF ファイルを見つけます。**[OK]** をクリックして、**[ディスク使用]** ダイアログボックスを終了し、インストールするドライバーを1つまたは複数選択します。特定のドライバーを見つけるには、**[モデルの検索]** テキストボックスでドライバー名の入力を開始します。リストにドライバー名が表示されたら、そのドライバーのチェックボックスを選択します。**[次へ]** をクリックします。

- 4 **[プリンター設定]** ページで、各プリンタードライバーで選択可能な設定を選びます。次のオプションの設定には、別のダイアログボックスが開きます。
 - [共通設定]** をクリックし、選択したすべてのデバイスに設定を適用できます。
 - [競合]** をクリックして、選択可能なオプションを選びます。
 - [インポート]** をクリックして、構成設定ファイル (.KVP) を選択します。
 - [エクスポート]** をクリックして、現在の構成設定を .KVP ファイルに保存します。

[次へ] をクリックします。

- 5 **【設定の確認】** ページで、設定内容を確認します。
- 6 **【完了】** をクリックすると、プリンタードライバーをインストールします。インストールが完了したら、**【エクスポート】** をクリックしてログファイル(.TXT)を保存できます。
- 7 **【OK】** をクリックします。

ホストビューでプリンタードライバーをアップグレード

インストールされているプリンタードライバーを、新しいバージョンにアップグレードできます。

- 1 **【ホストビュー】** で、1つまたは複数のホストコンピューターを選択します。
- 2 **【ホスト】** メニューで、**【ドライバーのアップグレード】** をクリックします。
- 3 **【ドライバーアップグレード】** ウィザードで、アップグレードするプリンタードライバーを選択します。各ホストで少なくとも1つのドライバーを選択します。**【次へ】** をクリックします。
- 4 **【各ドライバーの INF ファイルを選択】** ページで、**【ディスク使用】** をクリックして、アップグレードされている各ドライバー (32 ビットまたは 64 ビット) の有効な .INF ファイルを選択して **【OK】** をクリックします。**【次へ】** をクリックします。
- 5 **【設定の確認】** ページで、設定内容を確認します。
- 6 **【完了】** をクリックして、アップグレードを開始します。アップグレードが終了したら、**【エクスポート】** をクリックしてアップグレードのログファイル(.TXT)を保存できます。
- 7 **【OK】** をクリックします。

ホストビューでプリンタードライバーをアンインストール

ホストPCから、プリンタードライバーをアンインストールできます。

- 1 **【ホストビュー】** で、1つまたは複数のホストコンピューターを選択します。
- 2 **【ホスト】** メニューで、**【ドライバーのアンインストール】** をクリックします。
- 3 **【ドライバーのアンインストール】** ウィザードで、各ホストのプリンタードライバーのリストを展開します。
- 4 アンインストールを行う各ドライバー、またはキューの隣にあるチェックボックスを選択します。各ホストで少なくとも1つのドライバーを選択します。ドライバーを選択すると、関連するキューも選択されます。**【次へ】** をクリックします。

- 5 **【設定の確認】**ページで、設定内容を確認します。
- 6 **【完了】**をクリックして、アンインストールを開始します。アンインストールが終了したら、**【エクスポート】**をクリックしてアンインストールのログファイル(.TXT)を保存できます。
- 7 **【OK】**をクリックします。

追加ドライバーをインストール

ホストコンピューターにインストールされた 32 ビットまたは 64 ビットのプリンタードライバーで、別のバージョン(それぞれ 64 ビットまたは 32 ビット)の追加ドライバーをインストールできます。クライアントのシステムおよびドライバーが別のバージョンの場合、クライアント/サーバー環境において便利です。この機能は、デバイスドライバーのみに有効です。

- 1 **【ホストキュービュー】**で、1つまたは複数のキューを選択します。
- 2 キューを右クリックして、メニューで**【追加ドライバーをインストール】**をクリックします。
- 3 **【追加ドライバーのインストール】**ウィザードで、**【ディスク使用】**をクリックします。
- 4 プリンターの 32 ビットまたは 64 ビットの .INF ファイルを参照して、**【OK】**をクリックします。**【次へ】**をクリックします。
- 5 **【設定を確認】** ページで、設定内容を確認します。
- 6 **【完了】**をクリックします。**【エクスポート】** をクリックして、インストールのログファイル(.TXT)を作成・保存できます。
- 7 **【OK】** をクリックします。追加されたプリンタードライバーはホストビューに表示されませんが、アンインストールおよびアップグレードをすることができます。

プリンタードライバーリストの表示

選択したホストに対しインストールされた、プリンタードライバーの詳細情報を表示できます。

- 1 **【ホストビュー】**で、ホストを選択します。
- 2 **【ホスト】**メニューで、**【プリンタードライバーの表示】**をクリックします。
- 3 **【ホストのプリンタードライバー】**ダイアログボックスで、プリンタードライバーリストを表示します。
- 4 **【更新】**をクリックし、リストを更新するか、**【OK】** をクリックします。

印刷キューリストの表示

選択したホストの印刷キューの詳細情報を表示できます。

- 1 **[ホストビュー]**で、ホストを選択します。
- 2 **[ホスト]**メニューで、**[印刷キューを表示]**をクリックします。
- 3 **[ホストの印刷キュー]**ダイアログボックスで、印刷キューリストを表示します。
- 4 **[更新]**をクリックし、リストを更新するか、**[OK]**をクリックします。

ホストログイン設定の選択

ホスト管理者のログイン情報を変更することができます。

- 1 **[ホスト]**メニューで、ホストを選択します。
- 2 **[ホストビュー]**で、**[ホストログイン設定]**をクリックします。
- 3 **[ホスト管理者ログイン]**ダイアログボックスで、**[ホストへアクセス時にこのログインを使用する]**チェックボックスを選択します。
- 4 **[ユーザー名]**と**[パスワード]**を入力します。
- 5 **[ドメイン]**ドロップダウンリストで、ドメインを選択します。
- 6 **[OK]**をクリックします。

ドメイン管理者のログイン設定の選択

ホスト情報およびキュー情報の取得や、リモートコンピューターの設定の管理者ログイン権限を選択できます。

- 1 **[ホストビュー]**で、**[ホスト]>[ドメイン管理者のログイン設定]**をクリックします。
- 2 **[ドメイン管理者ログイン]**ダイアログボックスで、ドメインオプションを選択します。
 - [現在の Windows ログイン設定を使用する]**
Windows ログインを選択して使用します。
 - [ドメイン管理者ユーザー名とパスワードを指定する]**
[ユーザー名] および **[パスワード]** を入力してログインのドメインを選択します。
- 3 **[OK]**をクリックします。

管理者ログイン権限を設定していない場合、ホストを追加する際、またはプリンタードライバのインストール、アップグレード、アンインストールの際に【ドメイン管理者ログイン】ダイアログボックスが表示されます。セキュリティ上の理由から、アプリケーションを終了するとログイン情報は削除されます。

ホスト情報をファイルにエクスポート

表示された【ホストビュー】で、ホスト情報を .CSV または .XML ファイルにエクスポートできます。

- 1 【ファイル】>【エクスポート】>【ホスト】をクリックします。
- 2 【ホストのエクスポート】ダイアログボックスで、ファイルのパスを入力、または選択します。ファイルの拡張子は .CSV または .XML である必要があります。
- 3 【保存】をクリックします。

プリンター設定の構成

インストールしたプリンタードライバの設定を表示し、変更することができます。

- 1 【ホストビュー】で、【ホスト】>【プリンター設定】をクリックします。
- 2 【プリンター設定の構成】ウィザードに【ホストビュー】からアクセスした場合、インストールしている 1 つまたは複数のプリンタードライバを選択します。【次へ】をクリックします。
- 3 設定を変更するには、選択した各ドライバの下にある、変更可能なオプションをクリックします。
- 4 変更を終えたら、次のいずれかの操作を行います。
 - 【インポート】をクリックして、構成設定ファイル (.KVP) を選択します。
 - 【エクスポート】をクリックして、現在の構成設定を .KVP ファイルに保存します。操作に成功すると、メッセージが表示されます。
- 5 【次へ】をクリックします。
- 6 【設定の確認】ページで、設定内容を確認します。
- 7 【完了】をクリックして、構成プロセスを開始します。構成が終了したら、【エクスポート】をクリックして、構成ログファイル (.TXT) を保存できます。
- 8 【OK】をクリックします。

6 通信設定

[通信設定] は、各デバイス間のネットワーク通信を制御します。利用可能な設定はモデルによって異なりますが、**[ネットワークインターフェース設定]**、**[セキュアプロトコル設定]**、**[ログイン]**、**[部門ポーリング設定]**、および **[デバイスポーリング設定]** が含まれます。

参考: デバイスで認証が有効な場合、**[アドレス帳]**、**[ユーザー]**、または **[文書ボックス]** などのデバイス機能にアクセスするには、**[通信設定]** ダイアログボックスで **[ログインユーザー名]** と **[パスワード]** を正しく設定する必要があります。

デバイス通信設定

選択したデバイスの **[通信設定]** ダイアログボックスで、ネットワークインターフェース、ポーリングとプロトコルの設定、ログイン情報を変更できます。

- 1 **[デバイス]** ビューまたは **[部門デバイスビュー]** から、デバイスを選択します。
- 2 **[デバイス]** メニューで、**[通信設定]** をクリックします。
- 3 **[通信設定]** ダイアログボックスで、選択可能な設定を入力または編集します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

ネットワークインターフェース設定

このセクションでは、デバイスに接続された各ネットワークインターフェースカードの設定を参照できます。プライマリーネットワークカードを選択して、TCP/IP ポート、通信タイムアウト、管理者パスワード、および SNMP 通信の設定を編集できます。

次のオプションからデバイスの通信設定を入力できます。使用できるオプションは、モデルによって異なります。

[TCP/IP ポート]

デバイスに設定されている値と同じ値を入力します。指定可能なポート番号の範囲は、1024 ~ 65535 です。

[通信タイムアウト (秒)]

アプリケーションがデバイスとの接続確立を試行する秒数。

[SNMP 通信の再試行]

デバイスとの通信エラー後の再試行回数。

[Command Center 管理者パスワード]

パスワードは最大 32 文字で入力してください。

[SNMP v1/v2 を使用]

情報を要求するために使用される、デバイスの【リードコミュニティ】名を入力します。設定を変更するために使用されるデバイスの【ライトコミュニティ】名を入力します。【リードコミュニティ】と【ライトコミュニティ】は、SNMPのすべての取得要求および送信要求とともに送信され、デバイス上のコミュニティの値と一致している必要があります。

[SNMP v3 を使用]

デバイスに設定した【ユーザー名】と【パスワード】を入力します。

[認証] チェックボックスをクリックし、**[HASH]** を選択します (MD5 または SHA1)。【プライバシー】チェックボックスをクリックし、**[暗号化]** を選択します (DES または AES)。

TCP/IP ポート

操作によっては、ロジカルプリンターのポート経由でコマンドまたはコマンドファイルを送信します。ロジカルプリンターのデフォルトのポート番号は、9100 で始まります。指定可能なポート番号の範囲は、1024 ~ 65535 です。ポート番号は、デバイス用に定義した、いずれかのロジカルプリンターのポート番号と一致する必要があります。プリントデバイスのホームページで、ポート番号を設定します。設定の手順は機種によって異なります。

セキュアプロトコル設定

セキュアソケットレイヤー (**[SSL]**) は、ネットワーク通信時のセキュリティを提供する暗号プロトコルです。**[SSL]** サポートはモデルによって異なります。

デバイス通信に **[HTTPS]** を使用する際、**[SSL]** を選択します。

デバイス通信に **[HTTP]** を使用する際、**[SSL]** を選択しません。

ログイン設定

[ログイン]セクションでユーザーログイン情報を設定できます。この機能は選択されたデバイスの、少なくとも1つのデバイスが【ユーザーログイン】機能をサポートする場合に設定できます。

部門デバイスに対しては、**[デバイス管理と同じユーザーの情報を適用]** (デバイスに関するビューで**[通信設定]**のログイン情報が入力されている場合に有効)、または**[他ユーザーの情報を使用]**のどちらを使用するかを選択します。**[他ユーザーの情報を使用]**が選択されている場合、デバイスごとに**[ログインユーザー名]**と**[ログインパスワード]**の入力を要求します。

モデルによって、ローカル認証またはデバイス認証のどちらを使用するかを選択します。

部門ポーリング設定

デバイスの部門カウンター情報を、指定された間隔で調べます。デバイスを**[部門デバイスビュー]**から選択すると、次のポーリングモードが利用できます。

[部門カウンターのポーリング]

印刷、コピー、ファクス、スキャンの各合計数、ページサイズ、両面印刷ページ数および集約印刷ページ数など、各部門のカウンターに関する情報を収集します。ポーリング間隔、曜日または日付、および時刻を選択します。

デバイスポーリング設定

指定された間隔でプリンティングデバイスのエラーや動作の状態、トナー残量などを調べます。デバイスをデバイスビューから選択すると、次のポーリングモードが利用できます。

【ステータスのポーリング】

エラー状況、パネルメッセージ、および動作モードなど、デバイスの現在の動作状態に関する情報が収集されます。指定可能な範囲は5～300秒です。

【カウンターのポーリング】

カラー印刷ページ数、白黒印刷ページ数、受信したファクスの数など、デバイスに記録されている各種のカウンターの値に関する情報が収集されます。指定可能な範囲は1～10000分です。

【トナー量のポーリング】

デバイスの現在のトナー残量に関する情報が収集されます。指定可能な範囲は1～10000分です。

7 ワークスペース

ワークスペースとは、デバイス情報およびビューの設定を含む一連のファイルです。ワークスペースのデータは、デバイスリストまたはマップ、および画面のナビゲーションペインに表示されます。

ワークスペースは、ユーザー名およびパスワードを使用して定義されます。ユーザーがアプリケーションを開くと、そのユーザーの履歴から最後に使用したワークスペースが自動的に開きます。ユーザーがアプリケーションを閉じると、ワークスペースは自動的に保存されます。通常、ユーザーが必要なワークスペースは1つだけですが、異なるデバイスが複数の場所にある場合、追加のワークスペースを定義することができます。

ファイルをワークスペースにインポートしたり、ワークスペースをファイルにエクスポートしたりできます。また、バックアップの目的でワークスペースを別のファイル名にエクスポートすることもできます。リスト(現在のビュー)はファイルにエクスポートでき、また現在のワークスペースはファイルにエクスポートできます。

新規ワークスペースの追加

新規のワークスペースを、コンピューターまたはネットワーク上に作成できます。

- 1 **[ファイル]**メニューで、**[新規のワークスペース]**をクリックします。
- 2 **[フォルダーの参照]**ダイアログボックスで、新規のワークスペースフォルダーの場所を参照します。
- 3 既存フォルダーを選択するか、または**[新しいフォルダーの作成]**をクリックします。
- 4 新しいフォルダーの名前を入力し、**[OK]**をクリックします。

現在のワークスペースは、新規ワークスペースを開く前に、保存されてから閉じられます。

既存のワークスペースを開く

コンピューターまたはネットワーク上に作成したワークスペースを開くことができます。本アプリケーションの旧バージョン(5.x)用に作成されたワークスペースは新しいバージョンに変換され、元に戻すことはできません。

- 1 **[ファイル]**メニューで、**[ワークスペースを開く]**をクリックします。
- 2 **[フォルダーの参照]**ダイアログボックスで、既存のワークスペースの場所を確認し、そのワークスペースフォルダーをクリックします。
- 3 **[OK]**をクリックします。

選択したワークスペースを開く前に、現在のワークスペースを保存してから閉じます。

ワークスペースのインポート/エクスポート

ワークスペースとは、デバイスおよびユーザーインターフェースの情報を含む一連のファイルです。異なるバージョンのアプリケーション、または他のユーザーからのワークスペースをインポートできます。

バージョン 4.x からエクスポートされたワークスペースのファイル拡張子は **KV3** です。

バージョン 5 以降からエクスポートされたワークスペースのファイル拡張子は **KVX** です。

KM-Net for Accounting からエクスポートされたワークスペースのファイル拡張子は **XML** です。

古いバージョンで作成されたデバイスデータおよびユーザーインターフェース情報を再利用するには、古いワークスペースをインポートした後、新しいワークスペースに変換することによって可能になります。

また他のユーザーとワークスペースを共有することもできます。データの整合性を保護するために、ワークスペースには管理者を含むすべての他のユーザーがアクセスできません。ワークスペースを他のユーザーにコピーするには、ワークスペースをエクスポートした後、他のユーザーがこれをインポートする必要があります。ワークスペースは、ユーザー名およびパスワードを使用して定義されます。

ファイルを新規のワークスペースへインポート

他のユーザー、または 4.x のアプリケーションからエクスポートしたワークスペースをインポートできます。 **KM-Net for Accounting** データベースからエクスポートしたワークスペースもインポート可能です。

- 1 **[ファイル]** メニューで、**[新規のワークスペースへインポート]** をクリックします。
- 2 **[新規のワークスペースへインポート]** ダイアログボックスで、**[ファイル]** でファイルのパスを入力するか、**[参照]** をクリックしてワークスペースファイルを選択します。ファイルの拡張子は **KVX**、**XML**、または **KV3** でなければなりません。
- 3 **[ワークスペースフォルダー]** でファイルのパスを入力するか、**[参照]** をクリックしてワークスペースファイルを保存するフォルダーを選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。アプリケーションは自動的に現在のワークスペースを保存し、次にインポートしたワークスペースファイルを開きます。

ワークスペースをファイルにエクスポート

ユーザーまたはバージョン 5.x 以降のワークスペースを、ファイルにエクスポートすることができます。

- 1 **[ファイル]** メニューで、**[エクスポート]** > **[ワークスペース]** をクリックします。
- 2 **[ワークスペースのエクスポート]** ダイアログボックスで、ファイル名を入力してエクスポート先を指定します。

- 3** **【保存】** をクリックしてから、**【OK】** をクリックします。

最近使用したワークスペースの表示

最近開かれたワークスペースを表示し、使用することができます。最近使用した5つのワークスペースがリストに表示されます。

- 1** **【ファイル】** メニューで、**【最近使用したワークスペース】** をクリックします。
- 2** リストからワークスペースを選択します。他のワークスペースがすでに開いている場合、アプリケーションは選択されたワークスペースを開く前に、自動的に保存してから閉じます。

8 オプション

特定のシステム認証の設定および通信のオプションを選択できます。システムの管理者権限を持っていないユーザーに対して、ローカルパスワードを設定または変更できます。ユーザーに特定のデバイスの状態を通知するEメールを送信するようアプリケーションを設定することができます。新規デバイスにデフォルトのデバイスまたは部門ポーリング設定を行うことができます。また、アプリケーション内で実行される SNMP トラップを受信するトラップサーバーの設定を選択することもできます。監査ログをクリアするスケジュールを設定し、リモートネットワーク上でデバイスと通信するためのプロキシサーバー設定を選択することができます。

Eメールオプションを編集

カバーのオープン、紙づまり、カウンターが上限を超えたなどの、デバイスまたはカウンターの特定状況を、ユーザーに E メールで通知するようアプリケーションを構成することができます。

- 1 **[編集]** メニューで、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[オプション]** ダイアログボックスで **[メール設定]** をクリックします。
- 3 **[ホスト]** テキストボックスに **SMTP (E メール)** サーバー名を、**[ポート]** テキストボックスにポート番号を入力します。
- 4 認証を使用するには、**[認証が必要]** を選択します。**[ユーザー名]** テキストボックスには、**SMTP** サーバーにログインするのに必要なユーザー名を、**[パスワード]** テキストボックスには **SMTP** サーバーにログインするのに必要なユーザーパスワードを入力します。
- 5 **[送信者名]** テキストボックスに送信者の名前を入力し、**[送信者のアドレス]** に送信者の Eメールアドレスを入力します。
- 6 **SMTP** サーバーとの接続をテストするには、**[接続のテスト]** をクリックします。アプリケーションが **SMTP** サーバーに正しく接続されたかどうかを示すメッセージが表示されます。必要な場合、**[ホスト名]** と **[ポート番号]** を訂正して、再度接続を試みます。

参考: **[テスト接続]**は、ユーザー名とパスワードの妥当性を確認しません。

- 7 **[OK]** をクリックします。

認証オプションを編集

他の Windows ユーザーがアプリケーションにログインする際の、パスワードを設定できます。この機能は管理者のみが設定できます。

- 1 **【編集】**メニューで、**【オプション】**をクリックします。
- 2 **【オプション】**ダイアログボックスで、**【認証】**をクリックします。
- 3 **【ローカルパスワードを有効にする】**チェックボックスを選択します。
- 4 **【新しいパスワード】**テキストボックスに、ローカルユーザーのパスワードを入力します。パスワードは、画面上に表示されている必要条件に従ってください。
- 5 **【パスワードの確認】**テキストボックスに、再度パスワードを入力します。
- 6 **【OK】**をクリックします。

デバイスのポーリングオプションを編集

新規デバイスにデフォルトのデバイスポーリング設定を適用できます。これらの設定は、デバイス追加時点の**【通信設定】**の初期値に反映されます。この設定は、すでに追加されているデバイスには影響を与えません。

- 1 **【編集】**メニューで、**【オプション】**をクリックします。
- 2 **【オプション】**ダイアログボックスで、**【デフォルトのデバイスポーリング設定】**をクリックします。
- 3 デバイスのオフライン状態やカバーの開閉状態など、デバイスの状態を監視するには、**【ステータスのポーリング】**を選択します。秒数を入力するかまたは上下矢印をクリックして、ポーリングの**【間隔 (秒単位)】**を指定します。指定可能な範囲は5~300秒です。デフォルト値は60秒です。
- 4 印刷ページ数の合計やカラー印刷ページ数など、ページ数を集計するには、**【カウンターのポーリング】**を選択します。分の値を入力するかまたは上下矢印をクリックして、ポーリングの**【間隔 (分単位)】**を指定します。指定可能な範囲は1~10000分です。デフォルト値は60分です。
- 5 デバイスで使用可能なトナーの残量を追跡する場合は、**【トナー量のポーリング】**を選択します。デバイスリストのトナー量の列には、四角形のアイコンで相対的なトナーの残量が示されます。トナーが空になると、アイコンには感嘆符が表示されます。**【トナー量のポーリング】**は、白黒デバイス用のブラックトナー量を示します。カラーデバイスに対しては、ポーリングは黒、シアン、マゼンタ、イエローのトナー量を示します。
分の値を入力するかまたは上下矢印をクリックして、ポーリングの**【間隔 (分単位)】**を指定します。指定可能な範囲は1~10000分です。デフォルト値は1440分です。
- 6 **【OK】**をクリックします。

SNMP トラップオプションを編集

SNMP プロトコルは、ネットワーク内の管理情報の通信に使用されます。エラーが発生すると、例えば**【用紙を補給してください】**のように、デバイスは

自動的にトラップを生成します。トラップは1人または2人の所定のトラップ受信者にエラーメッセージを送信します。トラップサーバーは、アプリケーション内で実行されるSNMPトラップパケットレシーバーです。トラップパケットを受信するには、ユーザーはトラップサーバーを起動し、次にデバイスに付属している説明書にしたがって、デバイス上でSNMPトラップを設定する必要があります。TCPポート162が利用可能で、ファイアウォールにブロックされていないことが重要です。

- 1 **[編集]**メニューで、**[オプション]**をクリックします。
- 2 **[オプション]**ダイアログボックスで**[トラップ]**をクリックします。
- 3 **[サーバーステータス]**には、トラップサーバーが実行中であるかどうかが表示されます。トラップサーバーが実行中でない場合は、**[開始]**をクリックできます。

トラップサーバーと接続できない場合、メッセージが表示されます。トラップサーバーが起動に失敗した原因を示すエラーメッセージについては、ログフォルダーの下のログファイル C:\Program Files\Kyocera\NetViewer\KNV\log を参照してください。エラーを修正し、もう一度トラップサーバーの開始を実行してください。

トラップサーバーが実行中の場合、**[停止]**をクリックして中止することができます。サーバーのステータスは、実行中でないことを示すよう変わります。
- 4 トラップコミュニティ(アプリケーション内に保存)と同じコミュニティ名を持つSNMPトラップの受信を許可する場合は、**[トラップコミュニティ]**テキストボックスにトラップコミュニティ名を入力します。デフォルトは**[public]**です。
- 5 アプリケーションが起動するとき常に、トラップサーバーも起動させたい場合は、**[プログラムの起動時にトラップサーバーを自動的に起動する]**を選択します。デフォルトは、トラップサーバーが自動的に起動しないよう、オプションがクリアされる設定になっています。
- 6 **[OK]**をクリックします。

部門ポーリングオプションを編集

新規デバイスの、デフォルト部門カウンターポーリング設定を指定できます。

- 1 **[編集]**メニューで、**[オプション]**をクリックします。
- 2 **[オプション]**ダイアログボックスで、**[デフォルトの部門ポーリング設定]**をクリックします。
- 3 **[新規デバイスのデフォルトの部門カウンターポーリング]**チェックボックスをオンにします。
- 4 **[部門カウンターのポーリング間隔]**では、リストから**[毎日]**、**[毎週]**、**[毎月]**を選択します。

- 5 **[時刻]** テキストボックスに、ポーリングを開始する有効な時刻を直接入力するか、または上下矢印を使用して時刻を指定します。
- 6 **[部門カウンターポーリング間隔]** に **[毎週]** を選んだ場合は、**[曜日]** リストからポーリングを行う曜日を選択します。
[部門カウンターポーリング間隔] に **[毎月]** を選んだ場合は、**[日付]** リストからポーリングを行う日にちを選択します。
- 7 **[警告レベル]** を選択します。ポーリング動作は、枚数の **60%** 以上がカウントされた時、または枚数の **80%** 以上がカウントされたときに警告を表示します。デフォルト値は **80%** です。
- 8 **[OK]** をクリックします。

ログ管理オプションを編集

監査ログレコードをクリアする前に、どれだけの期間保存するかを選択できます。クリアする前にレコードを .CSV ファイルに保存することができます。レコードは **[ファイル] > [ログレコードを開き監査]** に表示されます。

- 1 **[編集]** メニューで、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[オプション]** ダイアログボックスで **[ログの管理設定]** をクリックします。
- 3 **[ログの保存期間]** には、ログレコードを保存しておく期間を **5~90** 日から選択します。
- 4 ログレコードを保存するには、**[クリア前にログレコードをエクスポート]** を選択します。**[参照]** をクリックして、ファイル名およびファイルに保存するロケーションを指定します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

プロキシオプションを編集

リモートネットワーク上のデバイスと通信するためのプロキシサーバー設定を選択することができます。

- 1 **[編集]** メニューで、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[オプション]** ダイアログボックスで **[プロキシ設定]** をクリックします。
- 3 **[プロキシ]** で **[オン]** を選択します。
- 4 使用する各プロトコルにつき、プロキシアドレスとポート番号を入力します。
- 5 サーバーに認証が必要な場合は、**[認証が必要]** を選択します。**[ユーザー名]** と **[パスワード]** を入力します。

- 6 特定のドメインにプロキシサーバーを使用しない場合は、**【次のドメインにはプロキシを使用しない】**ボックスにドメイン名を入力し、セミコロンで区切ります。

- 7 **[OK]** をクリックします。

